

外国語コミュニケーション I (幼デ音歯)		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
[教員] : フェハリー フェリペ						
[関連する資格・履修制限等] : 幼教は卒業必修						
授業内容	グローバルな社会の舞台に立つことができるために、英語の文法能力のみではなく、英語で自分の意見を考え、他人に自分で考えたことを伝える自信をもつ必要があります。本演習では、教育、文化、社会、倫理、技術などの様々な現代的な問題を考え、ディスカッションをしましょう。					
授業方法	英語で現代の問題をディスカッションしながら、英語能力を高める。					
到達目標	知識・理解	英語で自分の意見を言うことができる。			◎	
	思考・判断・表現	自分で考えたことを理性的にまとめて、英語で文章を作ることができる。			◎	
	技能	初めて見た単語の意味を自分で考えることができる。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	10	20	10	-	40
	発表・レポート	10	20	10	-	40
	受講態度	10	-	10	-	20
	合計(点)	30	40	30	-	100
評価の特記事項						
テキスト	『Hot Topics Japan 1: A Culturally Specific Discussion Book』Compass Publishing(2,484円)ISBN: 978-1-61352-519-7					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	人間と社会(1): パーソナルスペース (p. 9) インTRODクシヨN [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
2	人間と社会(2): 集産主義 (p. 21) グループディスカシヨN: 日本社会と海外 [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
3	健康問題(1): 日本におけるマスクの使用 (p. 33) グループディスカシヨN: 自己と他人 [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
4	健康問題(2): 人工食品 (p. 27) グループディスカシヨN: 健康的な食事とは何か [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
5	人間と社会(3): 食文化 (p. 15) グループディスカシヨN: 和食と洋食の違い [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
6	健康問題(3): 日本人とお茶 (p. 39) グループディスカシヨN: 「チャ」と「ティー」の国際性 [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
7	教育(1): 「塾」の文化 (p. 51) グループディスカシヨN: 未来の教育 [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
8	教育(2): サブカルチャー (p. 45) グループディスカシヨN: 文化とは何か [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
9	科学と技術(1): 携帯電話のマナー (p. 63) グループディスカシヨN: 新しいテクノロジーの倫理(1) [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
10	科学と技術(2): ロボット研究 (p. 75) グループディスカシヨN: 新しいテクノロジーの倫理(2) [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
11	科学と技術(3): 自動販売機 (p. 69) 21世紀の労働 [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
12	文化(1): 漫画とアニメ (p. 81) グループディスカシヨN: 女主人公とベクデル・テスト(1) [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
13	文化(2): カラオケ (p. 87) グループディスカシヨN: 女主人公とベクデル・テスト(2) [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
14	文化(3): 日本庭園 (p. 93) グループディスカシヨN: 「美」とは何か [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
15	教育(3): 留学 (p. 57) グループディスカシヨN: 海外で暮らしてみませんか [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)					
時間外での学修	毎回、1時間ほどで完成できる宿題を出します。					
受講学生へのメッセージ	質問、コメントなどがあれば、オフィスアワーでお話ししましょう。オフィスアワーは教室で、講義前後に行います。					

外国語コミュニケーション I (看護学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
[教員]: 中村 静子							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	自己紹介をはじめ、生活・身の回りの出来事を英語で表現でき、読む・聞く・話す・書く能力と、異文化へのコミュニケーション能力とを身につけることを目標とします。英会話の基礎・基礎構文や英語のリズムを学ぶために、英語の歌や詩などを活用します。グループワークでの英語の寸劇(台本作り・実演)にも取り組みます。 医療に於ける単語・英文を少しずつ身につけていくために、5回目から毎回、5分間テストを行います。						
授業方法	ペアあるいはグループでのレッスン。常に英語で会話ができることを目的とする。						
到達目標	知識・理解	看護に必要な単語・文の理解ができる。			○		
	思考・判断・表現	個々の患者の国民性・性格などを加味した上でそれに合わせてどの様に接していくかを考えることができる。			◎		
	技能	患者との英語でのコミュニケーションにおいてスムーズな対話ができる。			○		
	関心・意欲・態度	いつでも院内で英語が使えるように普段から外国人を見かけたら英語で話しかける意欲を持つことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	単語・英文のテスト		20	-	-	-	20
	英文レポート		-	20	-	-	20
	リスニングテスト		-	10	-	-	10
	ペアワーク		-	-	20	-	20
	提出物		-	-	-	10	10
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		20	30	20	30	100	
評価の特記事項	原則として、遅刻・欠席厳禁(テキスト書き込みも採点対象となる)						
テキスト	『看護師・医療秘書のための実践英会話 第2版』アリスト(2,160円) ISBN:978-4900890176 ※全員購入すること						
参考書・教材	随時、オリジナル教材を配付する。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	(1) レッスンプラン (2) Self-Introduction (3) 英文で自己紹介レポート ・レッスンの進め方に対する説明・教員の自己紹介 (in English and Japanese) (英語 → Listeningの練習のため) [準備・課題] A: 辞書 / B: 自己紹介を日本語と英語で考えておく (1h) ※以下全て、A: 準備 / B: 課題について記載						
2	My World Trip ・教員の今までの世界旅行の体験談などを話す (in English and Japanese) [準備・課題] A: 世界地図を見ておく / B: レポート完成へ (1h)						
3	テキストP.24 道案内 ・ペアで地図を見ながら英語で道案内する [準備・課題] A: P.24予習 / B: ペアでの会話 (0.5h)						
4	(1) P.83~P.90 病状などの文を学ぶ (2) English Songを歌う [準備・課題] A: P.83~P.90テキストチェック / B: その頁を復習 (1h)						
5	患者受付 医師、看護師に於ける英会話練習 ・ペアで道案内台本作り [準備・課題] A: P.10, P.12テキストチェック / B: 台本完成へ (1h)						
6	ペアでリハーサル [準備・課題] A: ペアで台本確認 / B: ペアでリハーサル (1.5h)						
7	薬の投与の仕方を学ぶ ・Skit (寸劇発表) [準備・課題] A: P.34, P.36テキストチェック / B: プリント復習 (1h)						
8	P.91~P.96 医療に於ける単語を学ぶ [準備・課題] A: P.91~P.96単語チェック / B: 単語を覚える (1h)						
9	P.38 (単語・文法・発音) を学ぶ [準備・課題] A: P.38テキストチェック / B: 単語・文法を覚える (1.5h)						
10	Halloween Lesson (Trick or Treat) ・パーティー(仮装0.K)形式でその歴史などを教員の海外でのエピソードをまじえて聞く [準備・課題] A: 気分をHalloween Lessonへと整えておく / B: その単語などを暗記 (0.5h)						
11	Making card (英文でグリーティングカードを作る) [準備・課題] A: カードの相手を決めておく / B: カードの文を考えておく (1h)						
12	カード用手紙文(英文)を書く [準備・課題] A: 前回Bの単語を調べておく / B: カード・レイアウトなどを考えておく (1h)						
13	カード作成へ ・Halloweenについて [準備・課題] A: カード用シール・色鉛筆など準備 / B: カード提出へ (1h)						
14	カード仕上げ、提出 [準備・課題] A: リスニングのための準備 / B: カード提出への課題 (1h)						
15	Listening, Reading, 発音テスト ・テキストの中の書き込みレポート [準備・課題] A: テキスト書き込み箇所再チェック / B: 数字・月名(1月~12月)聞き取り (1.5h)						
時間外での学修	授業中に覚えた英語表現をリピーターして覚える。それ以外耳に入ってくる英語(テレビの英会話番組、コマーシャル、歌、洋画)に耳を傾ける。						
受講学生へのメッセージ	毎時間、工夫をこらしたレッスンを準備していますので、楽しみながら参加してください。そして15回のレッスン終了後“英語って楽しいなあ”と感じてほしいです。 英語に対する苦手意識が解消しますように!! オフィスアワーは、講義前後の教室で行います。 ※テキスト、辞書(電子辞書可)、ノートを毎回必ず持参すること。						

外国語コミュニケーションⅡA		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]：フェハリー フェリペ							
[関連する資格・履修制限等]：幼教・歯科は選択必修							
授業内容	日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、特に東海地方には多くの集住地域があります。ブラジルの文化、音楽や歴史などを勉強しながら、基礎的なポルトガルの会話を学びます。						
授業方法	ブラジル・ポルトガル語の発音に慣れ、基本的な挨拶表現と直説法現在形を用いた自己表現ができるようになります。						
到達目標	知識・理解	ブラジル・ポルトガル語の基本点を理解し、自分で簡単な文書を作ることができる。			◎		
	思考・判断・表現	日常的な会話によく使われる表現を使うことができる。			○		
	技能	日本語と比較しながら、ブラジル・ポルトガル語の基本的な文法と語彙を身に付ける。			○		
	関心・意欲・態度	授業中、質問をし、ポルトガル語とブラジルの文化に関心を持てる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		30	20	-	-	50
	小テスト		10	-	20	-	30
	授業態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		40	20	20	20	100
評価の特記事項							
テキスト	『Vamos falar português!』朝日出版社(2,300円)ISBN:978-4-255-55501-0						
参考書・教材	黒沢 直俊・ホノウヂ ポリート・武田 千香『デイリー日葡英・葡日英辞典』三省堂 2003年						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	アルファベットと挨拶 ブラジル文化と歴史(1) 植民地時代と独立 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
2	発音の説明と数詞 ブラジル文化と歴史(2) 20世紀前半 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
3	名詞の性と数 ブラジルの音楽(1)：「サンバ」と「セルタネージョ」 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
4	SER動詞(1) ブラジル映画：『汚れた心』 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
5	SER動詞(2) ドキュメンタリー：『魔法じかけの言葉』(1) [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
6	SER動詞とESTAR動詞 ドキュメンタリー：『魔法じかけの言葉』(2) [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
7	否定文と疑問文 ドキュメンタリー：『魔法じかけの言葉』(3) [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
8	形容詞 ドキュメンタリー：『魔法じかけの言葉』(4) [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
9	所有形容詞 ブラジルの音楽(2)：MPBとは何か [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
10	動詞の活用(1) ブラジル文化の歴史(3)：20世紀後半 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
11	動詞の活用(2) ブラジルの音楽(3)：田舎と都会 [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
12	IR動詞 ブラジルとポルトガルの言葉の違い [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
13	TER動詞とFAZER動詞 ブラジルのスポーツ [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
14	様々な表現 ブラジル文化と歴史(4)：現代ブラジル [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
15	まとめ [準備・課題] 講義内容の復習(1h)						
時間外での学修	毎回、1時間ほどで完成できる宿題を出します。						
受講学生へのメッセージ	質問、コメントなどがあれば、オフィスアワーでお話ししましょう。オフィスアワーは教室で、講義前後に行います。						

外国語コミュニケーションⅡB		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 所 洋子							
[関連する資格・履修制限等]: 幼教・歯科は選択必修							
授業内容	基本的な中国語会話を覚えていくと共に、中国と日本との文化や習慣の違いにも触れていく。						
授業方法	一方的に授業することは避け、主役は学生であることを念頭に置き、共に会話や練習問題を行っていく。具体的には「グループ討議」や「ロールプレイ」等を通して実施していく。						
到達目標	知識・理解	中国語の発音、中国語の語順、中国で使われている漢字と日本で使われている漢字の違いなどを通して、中国語の基本的な部分を理解できる。			○		
	思考・判断・表現	基本的な中国語会話力や、また「中国なう」を通じて中国と日本との文化や習慣の違いを知っていただくと共に、異文化への理解を深め、心豊かな人間になっていただくことを目指したい。			○		
	技能	日本語にない発音の仕方の学習を通して、コミュニケーション能力の向上につなげていきたい。			○		
	関心・意欲・態度	自国以外の文化や習慣に関心を持つことに結びつき、グローバルな視野や考え方を養っていただきたい。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		20	15	20	15	70
	レポート・発表		5	-	5	-	10
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		25	15	25	35	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	初回に自作の「中国語基礎会話テキスト」を配布します。						
参考書・教材	必要な資料は配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	自分のこと(名前・趣味)を中国語で言ってみよう [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
2	(1)自分のこと(年齢・家族)を中国語で言ってみよう (2)「中国なう」中国ってどんな国? [準備・課題]学習した内容を復習し、中国の現状(生活)を調べてまとめる(1h)						
3	数字・時間・曜日を中国語で言ってみよう [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
4	(1)「あり」・「なし」を中国語で言ってみよう (2)「中国なう」似ていて異なる中国と日本の漢字の違い [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
5	自分の「したいこと」を中国語で言ってみよう [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
6	(1)比較することを中国語で言ってみよう(高い・低い、大きい・小さい) (2)「中国なう」日本の漫画は中国で大流行 [準備・課題]学習した内容を復習し、中国と日本との文化の関連性を調べてまとめる(1h)						
7	中国語で質問してみよう(なぜ?) [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
8	(1)中国語で質問してみよう(どのように?) (2)「中国なう」中国からの観光客 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
9	中国語で質問してみよう(誰?) [準備・課題]学習した内容を復習し、中国の現状(社会)を調べてまとめる(1h)						
10	(1)「漢字」に興味を持ってみよう (2)「中国なう」中国の外来語 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
11	中国語で病気を表現してみよう [準備・課題]学習した内容を復習し、中国の現状(女性の社会進出)を調べてまとめる(1h)						
12	(1)感想を中国語で言ってみようⅠ (2)「中国なう」中国人の食 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
13	感想を中国語で言ってみようⅡ [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
14	(1)感想を中国語で言ってみようⅢ (2)「中国なう」中国で流行っている日本食 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)						
15	総まとめ [準備・課題]学習した内容の復習(2h)						
時間外での学修	各課ごとに練習問題があるので、予習しましょう。学んだ言葉を実際に生活の中で使ってみて、その楽しさを見つけてほしいです。また、言葉の勉強をきっかけにその国の文化等にも関心をもっていただきたいと願っております。						
受講学生へのメッセージ	・中国語は発音が難しいとよく言われていますが、私の授業は発音には固持しません。むしろ馴染みのある漢字から入っていく、最終的には中国人の方と筆談ができるようになればと願っております。 ・オフィスアワーは講義教室で毎週水曜日の10:30~10:40と12:10~12:30です。						

国語表現(今井)(デ音歯看)		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]: 今井 美都子							
[関連する資格・履修制限等]: 歯科は選択必修							
授業内容	国語力の基本は「聞く力」「話す力」「読解力」「書く力(表現力)」である。これら4つの力を身につけるために、様々な実践をする。また、優れた文章(エッセイ、コラム、詩、物語等)を共に読み合いながら豊かな表現力の獲得へと誘う。社会人として役に立つ文章が作成できるように、基本的なスキルを伝授する。						
授業方法	講義と実技実践を織り交ぜて、授業展開をする。例えば、ビブリオバトルを取り入れて、グループ内での対話を重ねることで力をつけ、文章作成のスキルを身につける。発表を通して話す力、秀でた文章を読み合うことで、読む力と楽しさ、表現力を身につける等である。また、優れた文を沢山読み、お手本にして手法を学ぶことを実践していく。						
到達目標	知識・理解	国語表現の基本的な、用法、語彙についての知識・理解を深め、豊かな表現ができる。			◎		
	思考・判断・表現	自分の考えていることを、的確に論理的な文章で書くことができる。自分や他者の行動や意見を客観的な視点で表現し、思考を深めることができる。			◎		
	技能	社会人に必要な基本的な語彙の知識を持ち、社会生活に必要な実用的な文章を作成することができる。さらには専門科目で求められている論理的な文章を作成することができる。			○		
	関心・意欲・態度	他者との対話を大切にし、自分の思いを的確に伝えることができる。社会に目を向け、興味を持って意欲的に言葉で発信することができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		15	15	15	-	45
	グループ発表		5	10	-	5	20
	小レポート		10	5	5	-	20
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	試験は定期テストをします。グループ発表、小テストも重視し、学修への意欲等を考慮し総合的に評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	テキストはありません。						
参考書・教材	毎回、レジュメ、資料を配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション 講義の内容と方法についての説明と課題図書を紹介。 [準備・課題]自己表現するための発表の準備。(2h)						
2	表現力を培う①自分を見つめて、書いて伝える。自己PRする。 [準備・課題]自分の書いた文章を確認し、訂正して清書する。他者の意見を聞いて再考する。(4h)						
3	表現力を培う②原稿用紙の使い方。原稿用紙に清書する。 [準備・課題]完成原稿を見直して再考して、決定原稿を作成する。(3h)						
4	表現を楽しむ①言葉で遊ぶ一回文、しりとり、折句 [準備・課題]図書館で調べる。回文等を作ってみる。(3h)						
5	表現を楽しむ②詩歌を楽しむ。 [準備・課題]紹介したい詩歌を探す。決定した詩歌を書き写す。声に出して読む。(4h)						
6	表現を楽しむ③語りの手法を学ぶ。 [準備・課題]図書館等で紹介したい「昔話」を選ぶ。「語り」の練習をする。(3h)						
7	表現を楽しむ④エッセイ、コラムを読む。 [準備・課題]個々で書きたいテーマを決めて、実際に書いてみる。(6h)						
8	読書とコミュニケーション*ビブリオバトルを楽しむ。①ビブリオバトルについて。グループ分けする。 [準備・課題]グループに分かれて話し合う。テーマ設定をする。(6h)						
9	読書とコミュニケーション*ビブリオバトルを楽しむ。②グループに分かれて対話し内容を決定する。 [準備・課題]発表内容等を決定して、書き記す。(6h)						
10	読書とコミュニケーション*ビブリオバトルを楽しむ。③グループ発表とまとめ [準備・課題]個々で発表内容をまとめて書き記す。(6h)						
11	メディアリテラシーについて①メディアって何? [準備・課題]現状を調べてまとめる。(3h)						
12	メディアリテラシーについて②メディアを読み解く。 [準備・課題]今後の課題を提案する。ネット情報について考察する。(3h)						
13	小論文、レポートの書き方。 [準備・課題]テーマに沿って実際に文章作成する。(5h)						
14	敬語の基礎知識。手紙の書き方(社会人としての手法について) [準備・課題]相手を想定して、実際に文章を作成する。(3h)						
15	まとめ。 [準備・課題]総合的なまとめの復習をし、提出レポートを再確認する。(6h)						
時間外での学修	グループ発表のための準備。図書館で調べること。レポート作成。						
受講学生へのメッセージ	オフィスアワー: 質問は授業後、教室で受け付けます。						

国語表現(鈴木)(デ音歯看)		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]: 鈴木 孝育							
[関連する資格・履修制限等]: 歯科は選択必修							
授業内容	社会人基礎力として、コミュニケーション能力の養成が声高く求められている現代社会において、ことばを正しく使い、的確な文章で自分の思いや考えを相手に伝えること、また相手の考えや感情を的確に把握することは、社会人・職業人として、きわめて大切なことです。そこでこの授業では、文章表現における用字、用語の習得から、表現技術を磨き、まずは基礎としての書き言葉を学んだ上で、実際の社会生活の場が必要となる口頭表現を身につける学習を行います。具体的には、文章表現における基礎的な知識やルールを学び、手紙・案内文・公用文・作文・エントリーシートなど、さまざまな文章の書き方や、スピーチや電話の対応マナーなど実践的な表現力を養成します。						
授業方法	講義と問題演習を合わせた形式の授業を次の流れで展開する。 1.はじめに確認・復習テストを行い、自己採点して、ことばや表現を豊かにする。 2.次に、教科書に沿ってことばと文章表現に関する基礎を学ぶ。 3.最後に、巻末問題を解き、自己採点して、文章表現力を鍛えていく。						
到達目標	知識・理解	国語の語彙と用法についての知識・理解を深め、豊かな表現力を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	確かな国語力を身につけ、課題や問題点を的確に捉え、思考を深めることができる。			◎		
	技能	社会人・職業人に必要な実用的な文章、並びに専門科目で求められる論理的な文章を理解する基礎知識を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	思考と表現及びコミュニケーションの最も大切な基盤は国語力であると理解し、興味と関心をもって学修に取り組むことができる。			△		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	-	-	60
	確認・復習テスト		10	-	10	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
	提出物		-	-	10	-	10
合計(点)		40	30	20	10	100	
評価の特記事項	試験は、授業内及び定期テストで行います。受講態度は、学修への取り組み状況、課題の提出状況等から総合的に評価します。欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『すぐに役立つ国語表現 第3版』学術図書出版社(1,890円)ISBN:978-4-87361-752-7						
参考書・教材	必要に応じて授業中に指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	講義の内容と方法についての説明と、コミュニケーションツールとしてのことばの機能に関する概説 [準備・課題] 図書館などでことばの機能に関する文献を読み、理解を深める (3h)						
2	文章表現の基礎知識①-用字についての理解① (ローマ字・仮名) [準備・課題] 学修した内容の復習 (3h)						
3	文章表現の基礎知識②-用字についての理解② (漢字) [準備・課題] 学修した内容の復習 (4h)						
4	文章表現の基礎知識③-用語についての理解① (反対語・対照語・四字熟語) [準備・課題] 学修した内容の復習 (4h)						
5	文章表現の基礎知識④-用語についての理解② (諺・重複表現・慣用句・用語の心得) [準備・課題] 学修した内容の復習 (4h)						
6	文章表現技術の習得①-文章の構成、文章の要素、語法、など [準備・課題] 学修した文章の構成や語法を次時の文章表現の実践に生かせるようにしておく (4h)						
7	文章表現技術の習得②-文章表現の実践、演習による構成力の養成 [準備・課題] 指定した課題を解いてくことと学修した内容の復習 (4h)						
8	文章表現技術の習得③-敬語表現① [準備・課題] 指定した課題を解いてくことと学修した内容の復習 (4h)						
9	文章表現技術の習得④-敬語表現② [準備・課題] 指定した課題を解いてくことと学修した内容の復習 (4h)						
10	文章表現技術の習得⑤-原稿用紙の使い方と実践 [準備・課題] 学修した内容の復習 (3h)						
11	文章表現技術の習得⑥-手紙文の書き方と実践 [準備・課題] 学修内容を復習し、正式な手紙が書けるようにしておくこと (4h)						
12	手紙文の作成-恩師への挨拶状を書く [準備・課題] 時間内に完成しなかった手紙文を完成させる (5h)						
13	口頭表現の修得-話しことば・スピーチ・電話など [準備・課題] 学修した内容の復習 (4h)						
14	就職等に必要書類の書き方-履歴書・エントリーシートなど [準備・課題] 学修した内容の復習 (4h)						
15	社会問題をテーマにした小論文の作成-授業全体の総括 [準備・課題] 事前に新聞や書物を読み、テーマを絞り、データなどを集め、時間内に完成させられるよう準備をしてくる (6h)						
時間外での学修	毎回返却する確認・復習テストの間違ひ箇所をチェックし、基礎知識を培いましょう。 [準備・課題] に示した事柄をきちんとこなしましょう。 質問等があれば、研究室 (B204: B号館2F) へどうぞ。						
受講学生へのメッセージ	コミュニケーション能力は、社会人基礎力の中心です。そして、国語表現は、それを使い人間関係を成立させる源です。豊かな人生を送るために、各自の国語表現力を磨くべく、積極的に授業に参加してください。オフィスアワー: 質問・相談事は授業の前夜に対応しますので、気軽に声をかけてください。						

心理学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：茂木 七香							
[関連する資格・履修制限等]：看護は卒業必修							
授業内容	私たちは毎日いろんなことを感じたり考えたりする経験から、自分の心の存在を認識しています。常に身近にあるような気がする心ですが、どのような仕組みなのか、どんな働きがあるのかと聞かれると、目にも見えず、不確かなものです。この授業では人の心について学びます。それはあなた自身の心でもあるので、なるほど確かにそうだと実感しながら理解できる内容です。まず始めに心理学が生まれた背景を知り、そして知覚や学習、発達、社会など、心理学の各分野のことを身近な例や実験を交えながら学んでいきましょう。自分や自分の周りの人々の言動に照らし合わせてみると、より深い学びにつながります。						
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題や自分自身についての振り返りの記述、グループワークなど、学生の能動的な学び（アクティブラーニング）を前提とした方法も取り入れて授業を行います。						
到達目標	知識・理解	人と関わりを持ちながら生きる上で基盤となる心理学への理解を深め、知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	学修内容を現実生活と結びつけて考え、様々な場面で適切に対処するための思考力や判断力、表現力を培う。			◎		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験（中間・期末）		30	-	-	-	30
	レポート		5	5	-	-	10
	ミニツペーパー		-	10	-	10	20
	ワークシート		-	-	10	-	10
	授業時間外課題		-	15	-	5	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		35	30	10	25	100	
評価の特記事項	筆記試験は、中間と期末の2回行います。 レポート課題はルーブリック（評価基準）とともに提示します。 ミニツペーパーとワークシートは授業中に記入して提出してもらいます。 受講態度は授業全体への取り組みや発言などで評価します。 全授業の3分の1以上を欠席した場合には、定期試験の受験資格がありません。						
テキスト	教科書は指定しません。授業中に適宜資料を配布します。						
参考書・教材	授業中に適宜紹介します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	はじめに：私たちの日常生活と心理学 心理学の歴史 心理学研究法 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
2	脳の働きと心：脳の構造と働き 記憶のメカニズム [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
3	感覚・知覚・認知：五感の働き 錯覚 運動知覚 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
4	発達①：生涯発達の視点 発達段階 発達課題 胎児期 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
5	発達②：青年期～老年期 死について [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
6	性格：類型論と特性論 原因帰属 性格検査 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む。中間テスト(1～6週目)の準備 (6～8h)						
7	中間テスト：1週目から6週目の確認テスト 学習①：知能の定義 知能の測定 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
8	学習②：動機づけ 観察学習 報酬の効用 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
9	社会：説得的コミュニケーション 広告の効果 社会的のぞみしさ [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
10	対人：バランス理論 対人魅力 態度変容 [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
11	集団：同調行動 社会的な手抜き・促進・抑制 リーダーシップ理論 [準備・課題]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6～8h)						
12	臨床①：感情 無意識の世界 葛藤 防衛機制 [準備・課題]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6～8h)						
13	臨床②：カウンセリング ストレス 自己理解 [準備・課題]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6～8h)						
14	グループワーク：レポート課題に基づく反転授業 グループワーク [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
15	まとめ：授業内容の振り返りとまとめ [準備・課題]授業終了時に与えられた授業時間外課題に取り組む。 期末テスト(7～15週目の内容)の準備(6～8h)						
時間外での学修	課題レベル：毎回配られる授業時間外課題にしっかり取り組んでください。 日常生活レベル：授業で修得した心の仕組みや働きを、自分自身の持っている実際の心で感じてみてください。						
受講学生へのメッセージ	心理学は、自分の心を知るための学問でもあります。授業に来る時には、「今日の私の心はどんな状態だろう」と、心を感じるアンテナをONにして来てください。 オフィスアワーは毎週火曜日の10時～12時、A306(A号館3階)に気軽になんでも話しに来てください。						

日本国憲法		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
[教員]：大矢 武史						
[関連する資格・履修制限等]：幼教は卒業必修、歯科は選択必修						
授業内容	この講義では、憲法の内容や歴史、人権保障や政治のしくみについて学び、専門科目の土台となる法知識を習得するとともに、主権者として他者を尊重し責任ある行動をとることができる人間性を育みます。国民の一人として知っておきたい日本のしくみ、社会のしくみを楽しく学んでいきます。					
授業方法	講義形式で行いますが、何度かビデオ視聴なども予定しています。日本と外国とを比較しながら日本の制度の優れているところや課題について考えながら、楽しく学んでいきます。					
到達目標	知識・理解	憲法の役割や基本原理、統治制度（政治）のしくみを理解し、憲法と私たちの生活との関わりについて説明できる。			◎	
	思考・判断・表現	人権の概念、歴史、現状について理解し、国内外における課題を人権と結びつけて考えることができる。			◎	
	関心・意欲・態度	国民主権や選挙の意義について理解し、主権者として行動することの重要性を理解している。			△	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	中間試験	30	10	-	-	40
	期末試験	30	10	-	-	40
	受講態度	-	10	-	10	20
	合計(点)	60	30	-	10	100
評価の特記事項	受講態度は、授業への姿勢、質問、発問に対する返答で評価する。					
テキスト	『マンガでわかる日本国憲法』池田書店(1,458円) ISBN:978-4-262-15417-6					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	イントロダクション・憲法とはどのようなルールなのか理解する。 [準備・課題]憲法と法律の違いについて調べ、理解しておく。(4h)					
2	憲法の歴史・各国で憲法や人権といった概念が誕生した背景を理解する。 [準備・課題]市民革命と人権の歴史との関わりについて調べ、理解しておく。(4h)					
3	日本国憲法の前文と歴史・憲法の4つの基本原理がどのようなものなのか、それぞれ理解する。 [準備・課題]日本国憲法前文で示されている4つの基本原理について調べ、理解しておく。(4h)					
4	基本的人権の保障・人権の性質や分類、制約について理解する。 [準備・課題]基本的人権の3つの性質について調べ、理解しておく。(4h)					
5	平等権・14条の役割、許される差別と許されない差別の違いについて理解する。 [準備・課題]絶対的平等と相対的平等との違いについて調べ、理解しておく。(4h)					
6	自由権・自由権とはどのような性質の権利か、私たちの生活との関わりについて理解する。 [準備・課題]自由権の概念および自由権の分類について調べ、理解しておく。(4h)					
7	社会権・社会権とはどのような性質の権利か、私たちの生活との関わりについて理解する。 [準備・課題]社会権に含まれる権利にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(4h)					
8	新しい人権・新しい人権が保障される根拠とその保障範囲について理解する。 [準備・課題]新しい人権にはどのような権利があるのか調べ、理解しておく。(4h)					
9	中間試験・これまでの学修行動を振り返るとともに、間違えた問題を中心に復習する。 [準備・課題]第8講までの内容を復習しておく。(6h)					
10	政治の仕組み・なぜ政治を行う権限は分けられているのか理解する。 [準備・課題]三権分立とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(4h)					
11	国会・なぜ国会には衆議院と参議院があるのか(二院制)について理解する。 [準備・課題]衆議院と参議院のそれぞれの特徴について調べ、理解しておく。(4h)					
12	内閣・なぜ総理大臣は国民の直接選挙で選べないのか(議院内閣制)について理解する。 [準備・課題]議院内閣制と大統領制のそれぞれのメリット・デメリットを調べ、理解しておく。(4h)					
13	裁判所・裁判所が国会で制定された法律を無効に出来るのはなぜか理解する。 [準備・課題]法令審査権とはどのような権限なのか調べ、理解しておく。(4h)					
14	平和主義・9条の意味内容や問題点、集団的自衛権について理解する。 [準備・課題]集団的自衛権によって自衛隊の活動がどう変わったのか調べ、理解しておく。(6h)					
15	講義のまとめ・授業で学んだことを今後の生活にどう活かすのか理解する。 [準備・課題]国民の義務にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(4h)					
時間外での学修	ノートに授業で学んだことをまとめる。(直筆ノートは試験時持ち込み可)					
受講学生へのメッセージ	憲法は難しいと思っていませんか。この授業ではわかりやすく、おもしろく、憲法を学びますので特別な知識や技能は必要ありません。憲法を学ぶことで、日本のしくみ、社会のしくみがわかり、他の科目の理解もスムーズになります。また、日々のニュースや出来事にも関心が湧いてきて家族との会話も膨らみます。受講マナーを守り、他の受講生とともに学び・成長しましょう。質問等については、授業の前後に教室で受け付けます。					



女性学		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：茂木 七香							
[関連する資格・履修制限等]：歯科は選択必修							
授業内容	大垣「女子」短期大学に入学されたみなさんは「自分の人生が女性という属性とともに在る」ということをどれくらい意識して過ごしていますか。この授業では女性をテーマとしてその特性を学び、現代社会での女性の生き方を考えていきます。主担当講師（総合教育センター・茂木）が心理学的な視点を中心に授業を進める中で各専門分野のゲスト講師を迎え、様々な視点からより多角的に学びます。みなさんがこれからの人生を女性という性別を持ちながらどのように生きていくか、その道案内となる授業です。						
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題に取り組んだり、自分自身について振り返って記述したり、グループワークをしたりと、学生の能動的な学び（アクティブラーニング）も取り入れて授業を行います。						
到達目標	知識・理解	これから生きていく上で基盤となる本授業の内容を理解し、知識を身につけることができる。			○		
	思考・判断・表現	授業で取り扱う話題について適切に判断し、自らと結び付けた思考や表現をしようとする。			◎		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(2回)		20	10	-	-	30
	ミニツペーパー		-	10	-	10	20
	ワークシート		-	10	10	-	20
	授業時間外課題		-	15	-	5	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		20	45	10	25	100	
評価の特記事項	レポート課題（小レポート、最終レポート）はルーブリック（評価基準）とともに提示します。ミニツペーパーとワークシートは授業中に記入して提出してもらいます。受講態度は授業全体への取り組みや発言などで評価します。全授業の3分の1以上を欠席した場合には、単位取得資格がありません。						
テキスト	教科書は指定しません。必要な教材は授業時に配付します。						
参考書・教材	参考書・教材は、授業中に適宜紹介します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1週	イントロダクション（総合教育センター茂木七香）：女性学とは 性別の決定 かくれたカリキュラム [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
2	性役割について（茂木）：性役割の歴史とその形成過程 グループワーク [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
3	女性と歯科（歯科衛生学科石川隆義先生）：歯の成長から見た妊娠から出産まで、女性ホルモンと歯周病の関係、若年女性の摂食障害と酸蝕症、等 [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
4	女性と身体（看護学科佐々敏先生）：女性ホルモンとからだの変化、乳癌の罹患率増加の現状と対策 [準備・課題]女性ホルモンと乳房の構造と機能を整理する (2～4h)						
5	子育てにおける女性の役割（幼児教育学科名和孝浩先生）：女性を取り巻く子育ての現状と動向 子育てと仕事の両立 [準備・課題]近年の女性のライフスタイルについて調べる (2～4h)						
6	女性のキャリア発達（茂木）：ライフキャリアレインボー ライフワークバランス [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
7	性自認と性別の受容（茂木）：女性性の受容 LGBTについて [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
8	映画から学ぶ（茂木）：映画の中に描かれる女性の姿 [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
9	音楽と女性（音楽総合学科小西文子先生）：音楽聴取時の感情判別能力 女性ホルモンと創造性 女性の音楽家 [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
10	性と法律（岐阜大学地域科学部立石直子先生）：命の値段 性の多様性と法 [準備・課題]授業終了時に出された小レポート課題に取り組む(4～6h)						
11	性にまつわる暴力（岐阜大学地域科学部立石直子先生）：DV デートDV セクハラ レイプ [準備・課題]授業終了時に出された小レポート課題に取り組む(4～6h)						
12	グループワーク（茂木）：課題について作成した小レポートをもとにしたグループワーク [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
13	マンガ史における女性像（デザイン美術学科伊豫治好先生）：読者が望む女性像の変異 [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
14	女性と古美術探求（デザイン美術学科植田努先生）：お寺巡りの仏像の鑑賞法 [準備・課題]授業終了時に出された授業時間外課題に取り組む(2～4h)						
15	まとめ（茂木） [準備・課題]授業終了時に出された最終レポート課題に取り組む(8～10h)						
時間外での学修	課題レベル：毎回配られる授業時間外課題にしっかり取り組んでください。日常生活レベル：授業で修得したテーマについて、世の中でどのように取り上げられているか、あらためて意識してみてください。						
受講学生へのメッセージ	授業で扱われるのは身近なテーマですが、それらについて深く考えたり、色々な人の話を聞いたりする機会はあまりないものです。この授業で与えられるさまざまな機会を有効に使って下さい。オフィスアワーは毎週火曜日の10時～12時、A306(A号館3階)に気軽になんでも話しに来て下さい。						

家族社会学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：竹内 治彦							
[関連する資格・履修制限等]：歯科・看護は選択必修							
授業内容	社会学の分野のなかで、家族や家族周期にかかわるものを主に取り上げて、今日の人々の暮らしや、地域の状況について理解することを目的とする。かつて家族は人間が生きていくうえで必要な様々な役割を果たしてきたが、今日では感情に基づく親密な集団としての役割に特化されて理解されている感がある。しかし、とりわけ日本では、家族は人間の世代的再生産に絶対的な役割を果たしており、結果、社会から教育に果たす役割も大きい。この授業では、そうした家族の本質的な役割が、今日、どのように果たされているのか説明し、これからの方向について受講生とともに探っていききたい。						
授業方法	講義を中心に授業を進めるが、合計特殊出生率の計算などは、実際に計算することで理解を深める。また、大きなテーマについてグループディスカッションも行う。						
到達目標	知識・理解	人口統計や家族にかかわる統計的な知識をもとに、現代の家族や女性の社会的立場について理解できている。			◎		
	思考・判断・表現	統計データについて、正しくその意味を理解し、わかりやすく表現できる。			◎		
	技能	合計特殊出生率や生命表をもとにしたライフサイクルの計算を行うことができる。			△		
	関心・意欲・態度	グループでの討議に、積極的かつ協調的に参加できる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		20	20	-	-	40
	ミニレポート		10	10	-	10	30
	グループディスカッション		5	5	10	10	30
	合計(点)		35	35	10	20	100
評価の特記事項	定期試験(筆記試験)、各回の終了時ミニレポート(内容理解と受講姿勢のチェック)、グループディスカッション(発言内容、参加姿勢)で評価します。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	講義時に指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	家族とは何か 家族の構造と機能 [準備・課題] 講義内容の復習(3h)						
2	夫婦関係1 配偶者選択・結婚 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
3	夫婦関係2 夫と妻の役割・ジェンダー・男女共同参画 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
4	少子化社会1 合計特殊出生率の理解 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
5	少子化社会2 戦後日本の合計特殊出生率の変化 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
6	少子化社会3 岐阜県の少子化の状況 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
7	晩婚化・晩産化・少子化について考える [準備・課題] 講義内容の予習と復習、ディスカッションの準備(8h)						
8	親子関係1 母子関係 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
9	親子関係2 父子関係など [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
10	家庭生活と仕事との調和1 共働き世帯の増加 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
11	家庭生活と仕事との調和2 ワークライフバランスについて [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
12	女性の活躍推進について [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
13	女性の活躍推進とワークライフバランスについて考える [準備・課題] 講義内容の予習と復習、ディスカッションの準備(8h)						
14	高齢化社会のこれからと家族 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(3h)						
15	高齢化社会の地域生活と家族 全体の総括 [準備・課題] 講義内容の予習と復習(8h)						
時間外での学修	時折、ディスカッションの機会を設ける。その際には、十分な準備をして臨むことになるので、時間外の学修が必要になる。						
受講学生へのメッセージ	一方的な授業ではなく、受講生に計算してもらったりする時間をなるべくつくるので、積極的に参加してください。 オフィスアワーは授業の前後、非常勤講師控室で行います。						

地域の歴史と文化		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：小川 敏雄							
[関連する資格・履修制限等]：歯科・看護は選択必修							
授業内容	<p>本学が所在する岐阜県の歴史や文化には、地域的な特色がある。たとえば、東西通行の要衝にあり低湿地帯でもある西濃には、中央政権の争いの場となったり水との戦いが繰り返されたりした歴史があり、県都岐阜には、美濃の中央という地理的な特色から、美濃支配の中心地となる歴史があった。東濃には名家が発祥した歴史、郡上・白川郷筋には信仰に関わりの深い歴史、飛騨には森林資源や木工技術者との関わりから中央政権の直接支配を受けた歴史があった。こうした地域の特色を、代表的な歴史事象を通して理解していく。</p>						
授業方法	<p>歴史事象を今に伝える史料、史跡や文化財の写真、現在地を示す地図等をパワーポイントで紹介しながら授業を進める。</p>						
到達目標	知識・理解	地域の歴史や文化について基本的な内容を理解することができる。			◎		
	思考・判断・表現	地域の歴史や文化が、地域の地形や地理的位置等自然環境とどのように関わりながら形成されてきたかを考えたり、判断したり、表現したりすることができる。			○		
	技能	地域の歴史や文化の特色について、地図や写真、年表等を使って説明することができる。			△		
	関心・意欲・態度	地域の歴史や文化に関心をもち、積極的に調べたり、考えたりして学修に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	毎時間のミニテスト		30	20	-	10	60
	受講態度		-	5	5	30	40
	合計(点)		30	25	5	40	100
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講態度は、真剣に聞いているか、しっかり発言するか、遅刻や早退はないかなどで評価する。</li> <li>・欠席（公欠は除く）はマイナス点とする。</li> <li>・3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。</li> </ul>						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	<p>「岐阜県の歴史の地域的な特色」 郷土岐阜県には、地域的な歴史や文化の特色があり、西濃、東濃、岐阜、郡上・白川郷筋、飛騨等の特色を概括する。 [準備・課題] 本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(3h)</p>						
2	<p>「西濃の歴史 壬申の乱と不破関」 畿内からの出口という地形的な特徴が壬申の乱の舞台となり、また、そうした特徴によって不破関が置かれた。 [準備・課題] 壬申の乱と不破関について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
3	<p>「西濃の歴史 美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂」 畿内からの出口に近い西濃には、美濃国府や国分寺等重要な施設が置かれ、美濃国の中心地であった。8世紀前半、長年にわたって美濃守を務め、国府にあった笠朝臣麻呂は、美濃国の発展に寄与した。 [準備・課題] 美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
4	<p>「西濃の歴史 関ヶ原の戦い」 東西通行の喉元に当たる関ヶ原は、石田三成と徳川家康が雌雄を決する合戦の場となった。 [準備・課題] 関ヶ原の戦いについて予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
5	<p>「西濃の歴史 大垣城と戸田氏」 東西通行の要地であり低湿地帯でもある大垣に配された譜代大名戸田氏は、治水や文教等特色ある藩政を行うとともに、幕政にも大いに貢献して、230年余の治世を全うした。 [準備・課題] 大垣城と戸田氏について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
6	<p>「西濃の歴史 宝暦治水と明治の三川分流工事」 木曾・長良・揖斐の三川が合流し水害に悩まされた西南濃では、三川の分流が最大の課題であり、宝暦や明治期にその大工事がなされた。 [準備・課題] 宝暦治水と明治の三川分流工事について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
7	<p>「東濃の歴史 東濃の雄・遠山氏の発祥」 鎌倉時代、岩村の地に発祥した遠山氏は、戦国時代には全盛期を迎えて東濃一帯に勢力を張った。 [準備・課題] 遠山氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
8	<p>「東濃の歴史 美濃の雄・土岐氏の発祥」 鎌倉時代、土岐郡に発祥した土岐氏は、美濃国守護となり厚見郡に移って室町時代の美濃を支配した。 [準備・課題] 土岐氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
9	<p>「岐阜の歴史 土岐氏の変遷」 厚見郡に移った美濃国守護の土岐氏は、長森から革手、福光、枝広、大桑等へ府城を移しながら、200年以上にわたってその地位を保ち続けた。 [準備・課題] 8・9回の学修を復習し、土岐氏の変遷についてまとめる。(8h)</p>						
10	<p>「岐阜の歴史 斎藤道三と織田信長」 土岐氏を追いやって美濃国主となった斎藤道三は、稲葉山城を本拠とし館や城下町を築いて、この地を美濃の中心地とした。道三の孫の代にこの城を攻略して岐阜城と改めた織田信長は、壮麗な館や城下町を整えて、天下統一の足場とした。 [準備・課題] 斎藤道三と織田信長について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						

内容	
実施回	授業内容・目標
11	<p>「岐阜の歴史 美濃代官役所の変遷」 関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城が落城し、合戦後は、岐阜町に美濃国奉行所が置かれて、美濃国内に多く設けられた幕府直轄地の支配がなされた。以後、この役所は可兒、揖斐、笠松へと転遷し、明治期に岐阜県庁となって今日に繋がる。 [準備・課題]美濃代官役所の変遷について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
12	<p>「白鳥・白川郷筋の歴史 白山信仰と浄土真宗」 霊峰白山への登拝口・白鳥は白山信仰の拠点となり、そこから越中につながる白川郷は、その後浄土真宗隆盛の地となった。 [準備・課題]白山信仰と白川郷の浄土真宗について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
13	<p>「飛騨の歴史 両面宿儺と飛騨匠」 両面宿儺が治めていたとされる飛騨も、大和政権下に入ると、匠を輩出する国として重視され、国家の強い支配を受ける。 [準備・課題]両面宿儺と飛騨匠について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
14	<p>「飛騨の歴史 飛騨の統一と高山町の形成」 姉小路氏や江馬氏との抗争を経て三木氏が統一した飛騨も、豊臣秀吉の命を受けた金森氏の手に移り、金森氏は高山城や高山町の形成に努めた。 [準備・課題]飛騨の統一と金森氏の飛騨攻略について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>
15	<p>「飛騨の歴史 天領と高山陣屋」 一国が幕府直轄地(天領)とされた飛騨には、代官所(高山陣屋)が置かれ、代官や郡代による統治がなされたが、大原騒動・梅村騒動等の大騒動も起きた。 [準備・課題]天領飛騨と高山陣屋について、予習し予備知識を得てくるとともに、全時間の学修を振り返り、岐阜県の歴史の地域的な特色をまとめる。(5h～8h)</p>
時間外での学修	<p>授業ごとに次回の授業内容を知らせるため、インターネット等で予備知識を得てくること。また、授業では、史跡や文化財の所在地等を示すため、見学に出かけるなど立体的な学修を進めたい。</p>
受講学生へのメッセージ	<p>それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史があり、その歴史が今日の地域社会を築き上げている。そうした歴史のロマンを感じるような学修にしよう。 オフィスアワーは、毎週水曜日の授業後10:30～11:30、場所は非常勤講師控室で行う。</p>

生活環境論		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
[教員]：矢田貝 真一						
[関連する資格・履修制限等]：特になし						
授業内容	地球の環境問題について、このままではこれからの人間生活に大きな影響をおよぼすことが確実で、その解決は一つの国だけではできない広域の問題だといわれています。また環境に大きな影響を与えているのは、一人一人の生活のあり方であるとも考えられ始めています。この授業では、どのような環境問題があり、その原因は何なのかを理解し、それらと私たちの生活がどのように結びついているのかをつかみ、問題の解決に向けて何が必要なのかを考えていきます。					
授業方法	講義を中心として、環境に対する認識を深め、考えたことなどを発表する活動なども含めて授業を展開していきます。					
到達目標	知識・理解	地球環境と人間の生活の変化、それらに起因する課題について、関連する基本的な知識を理解できる。	◎			
	思考・判断・表現	地球環境を人間の生活を結びつけながら考え、課題や問題点の原因をあげて解決の方策やそれにつながる取組などを示すことができる。	○			
	技能	関連する資料から地球環境と生活に関連する課題の現状などの指摘や説明ができる。	○			
	関心・意欲・態度	地球環境と生活を結びつけながら、それらに関する課題に関心を持ち、積極的に考えようと努力して学修に取り組むことができる。	○			
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	40	10	10	-	60
	レポート	5	5	5	5	20
	自己評価	5	5	-	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	20	15	15	100
評価の特記事項	自己評価は学修成果に対する自己の評価、受講態度は学修・発表・提出等の状況とします。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、生活と環境を考える(授業の目標や学ぶ内容の概要を理解する、環境問題に関する自己の理解や認識を再確認して関心を高める) [準備・課題]これまで学んだことのある環境問題とその原因についてまとめる(3h)					
2	地球の環境問題を考える(地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・森林破壊・生物種減少・砂漠化・海洋汚染などの概要と地球の歴史やシステムについて理解し、環境問題の現状について考える) [準備・課題]学んだ内容の復習(3~6h)					
3	オゾン層の破壊を考える(オゾン層について、地球上で果たす役割や破壊される原因、破壊による問題などを理解し防止に向けて必要なことを考える) [準備・課題]学んだ内容を復習し、防止する取組を調べてまとめる(3~6h)					
4	酸性雨を考える(酸性雨について、その原因とメカニズム、世界とわが国の現状と課題、防止に向けた取組などを理解し、身近な地域の状況に関心を持つ) [準備・課題]学んだ内容を復習し、居住地の現状を調べてまとめる(3~6h)					
5	地球温暖化を考える(1)(地球温暖化について、その現状と問題、原因とメカニズムなどを理解する) [準備・課題]学んだ内容を復習し、温暖化に関する報道を調べてまとめる(3~6h)					
6	地球温暖化を考える(2)(授業外の課題も参考にしながら、温暖化について、気候変動の概要、温暖化に関する将来予測、防止する手だてなどを理解し、自分なりの意見を考える) [準備・課題]学んだ内容を復習し、温暖化や防止の手だてに関する自分なりの考えをまとめる(3~6h)					
7	その他の環境問題を考える(森林破壊・生物種の減少・砂漠化・海洋汚染などの原因と深刻な現状などについて理解を深める) [準備・課題]前半で学んだ内容を復習する・関心を持った問題について調べてまとめる(4h)					
8	地球の環境問題についてのまとめに向けて(これまでまとめてきた課題を振り返りながら、レポートの役割と作成方法、環境問題に関するレポートの目的、ルーブリックなどについて再確認して理解し、今後のまとめに活用できるようにする) [準備・課題]学んだ内容について復習し、取り上げる問題についてさらにしっかりとまとめておく(5h)					
9	地球の環境問題についてのまとめ(課題として考えてきたことをもとに、環境問題のうち最も興味や関心を持った問題について、現象や原因、影響、防止する手だてなどを確実にまとめることができる) [準備・課題]学んだ内容をまとめ、各自で調べるなどしてレポートを自己評価とともに完成させる(3~6h)					
10	環境問題を生活と結びつけて考える(1)(身近な生活と環境問題の結びつきを考えるために、生活の進歩と環境問題とのつながりについて理解する) [準備・課題]学んだ内容をもとに身近な日常生活と地球の環境問題を結びつけて考え、結果をまとめる(4h)					
11	環境問題を生活と結びつけて考える(2)(まとめてきた課題を出し合って、生活と結びつくエネルギー問題、再生可能エネルギーの現状について理解を深め、エネルギー問題の解決に向けて自分なりの意見を考える) [準備・課題]学んだ内容をもとに、これからどのようなエネルギー源の開発に力を入れていくべきか、理由や見通しとともに自分の考えをまとめる(4h)					
12	環境問題を生活と結びつけて考える(3)(エネルギーを中心とした現在の状況について理解をさらに深め、将来について考えるようとする) [準備・課題]学んだ内容を復習し、感想と質問をまとめる(3~5h)					
13	生活環境に関連した課題を考える(子供をめぐる環境、食をめぐる課題など生活と直接関連したことについて理解する) [準備・課題]学んだ内容の復習し、他にどのような生活と関連した環境の課題があるかを考えてまとめる(3h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
14	過去の日本人が示した環境問題解決のヒントについて考える(循環型社会と江戸時代の生活に関する知識を深め、そこから学ぶことについて理解を深める) [準備・課題]環境問題やエネルギー問題の解決策や保全に向けた生活の工夫を考えてまとめる・発表の準備をする(8~10h)
15	まとめと発表(これまでの授業外での課題も活用しながら総合的なまとめを行い、環境問題やエネルギー問題の解決に向けた対策や生活での工夫などについて考えてきたことを発表できる) [準備・課題]授業で学んだ全体の内容について振り返り、総合的なまとめを行う(9~11h)
時間外での学修	[準備・課題]は授業の到達目標を達成するために必要となる内容ですので、( )の標準学修時間をめどとして確実に学修しましょう。
受講学生へのメッセージ	世界的視野に立ちながらも身近なところとつながる環境の問題について考え、各自の生活や行動と結び付けながら積極的に授業に参画してください。 オフィスアワーはA305(A号館3F)で毎週木曜日の16:20から17:30です。質問等があれば来てください。

基礎物理		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：飯田 洋治							
[関連する資格・履修制限等]：歯科は選択必修							
授業内容	「いきいき物理わくわく実験」 「科学はどこにでもあり、誰でもができる」。このことをモットーに、計算や数式とは一味違った物理の魅力に迫る。身近な材料を使った実験や討論を通して、力学、光や音、熱、電磁気、原子の世界など、自然の不思議さ・奥深さを追究し、科学の真の面白さ、誰でもが心から楽しめる物理をめざす。						
授業方法	身近な材料を使った実験や興味あるテーマを通して、討論を交えた授業を展開する。 毎回、授業内容に対するコメントを求める。						
到達目標	知識・理解	物理の基本的概念と知識を理解する。			○		
	思考・判断・表現	一市民として必要な科学的思考・総合的判断力の基礎を身につける。			○		
	技能	日常生活との関わり、応用と結び付けて考える技能を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	物理とその応用・生活との深い関わりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学習に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	小レポートと毎回のコメント		15	15	10	20	60
	最終レポート		10	10	10	10	40
	合計(点)		25	25	20	30	100
評価の特記事項	欠席は減点、1/3以上の欠席は単位を与えない。						
テキスト	なし						
参考書・教材	『いきいき物理わくわく実験』1, 2, 3 愛知・岐阜・三重物理サークル 日本評論社 その他、必要に応じて授業中に紹介する。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	科学マジックを通して、科学・非科学を考える 超能力実験、ひのえうま、空中浮揚など			科学の論理、確率、重心、光の反射 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
2	強い形、弱い形の秘密を探る 卵は握りつぶせるか、一枚の紙、ストローの形からなど			力の合成・分解、構造力学 [課題]身近な例を調べる(2~5h)			
3	振動と共振を考える 振動モーター、タコマ橋の崩壊、五重塔はなぜ倒れないなど			身近なおもちゃから振動・回転・共振へ [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
4	科学はどこにでもあり、誰でもができる 遊びの中の科学、おもちゃの科学、スポーツの科学など			身近なものに潜む物理の原理 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
5	やってみよう 人の姿勢と動作の科学(ボディメカニクス1) "壁にお尻をつけてお辞儀をする"などいくつかの実験実習から			実習、重心 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
6	腰を痛めないように重いものを持つ方法(ボディメカニクス2) 看護・介護にも役立つ日常の姿勢と動作			力のモーメント [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
7	音と楽器の秘密を探る 投げてこすってドレミファソ、音階ができれば何でも楽器など			音、定常波 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
8	光と色の不思議を探る 3原色の影の色、CD・DVDの秘密、もの見える仕組みなど			光 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
9	エアコンの秘密 温度制御の物理 押すだけで燃える? フェーン現象など			熱、仕事 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
10	生活の中の電気・磁気 感電する? しない? 燃える鉛筆光る芯、磁気記録の秘密など			電気回路 磁気 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
11	ハイテクも原理は簡単 光も電磁波 なんでもマイク・スピーカー、次々生まれる簡単モーターなど			電磁誘導、電磁波 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
12	押しつぶしの科学 自然の階層性 「人間・アリ・象」「ゾウの時間ネズミの時間」 宇宙から素粒子まで、大きさ比べてここまでわかる			サイズの物理 原子・宇宙 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
13	原子から宇宙へ 放射線、医療への応用 放射線の人体への影響、医療への応用など			核エネルギー・放射線 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
14	経験をたよりにすれば間違えるのは当たり前 高校生・大学生の力学概念調査から			運動の法則、力学的エネルギー [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
15	動いていてもそれを感じない世界の発見 地動説と近代科学の原点			慣性の法則、相対性原理 [課題]内容の復習と発展学習(1~4h)			
時間外での学修	小レポート、最終レポート作成に関して早くから関連資料、書籍をよく読み、調べ、自己の見解をまとめておくこと。						
受講学生へのメッセージ	毎回授業に出席し、興味ある分野を調べるなど、関連する資料・書籍を読み、授業以外でも友人と議論することをすすめたい。 オフィスアワー：講義終了後、非常勤講師控室へ入室のこと。						

基礎化学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]： 額 守							
[関連する資格・履修制限等]： 歯科は選択必修							
授業内容	私たちのまわりには「化学」が関わる様々な現象や製品に満ち溢れています。たとえば、ドライクリーニングは石油系溶剤で洗うので油汚れや皮脂汚れに効果的、一方、汗やジュースの汚れは家庭用洗濯機で水洗いが効果的。お風呂とトイレの洗剤を両方使うともっときれいになるかと思って使ったら毒ガスが発生して亡くなった主婦のお話。水のこと、うまみ成分、プラスチックなどすべて「化学」。こんな卒業後も役立つ「化学」の基礎知識をいっぱい紹介し充実した安全な生活が送れることを願っています。本講義では身近な事例をとりあげご自身の実体験とともに「化学」を理解していきます。						
授業方法	講義、ディスカッション、調査・発表など。						
到達目標	知識・理解	社会人として生活に役立つ化学の基本的概念を理解する			◎		
	思考・判断・表現	化学に関して習得し理解した知識を日常生活と結びつけ科学的・総合的判断力を養う			◎		
	技能	表やグラフなどから日常起こる化学現象、化学製品の現状とよりよい活用法について意識し考えることができる			△		
	関心・意欲・態度	化学と日常生活とのかわりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学修に取り組むことができる			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	-	-	50
	レポート		-	10	-	-	10
	小テスト		10	-	-	-	10
	課題提出		-	-	-	10	10
	発表(グループ発表含む)		-	-	10	10	20
合計(点)		40	30	10	20	100	
評価の特記事項							
テキスト	担当教員が作成し印刷してきた配布資料を使って講義をします						
参考書・教材	必要に応じて参考書などを紹介します 『身の回りから見た化学の基礎』芝原寛泰・後藤景子著、化学同人、ISBN:978-4-7598-1292-3 『商品から学ぶ化学の基礎』松田勝彦著、化学同人、ISBN:978-4-7598-1436-1						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	金属の特徴を知ろう(1) 貴金属(金、銀) 地球上にある物質をまとめた周期表、いろいろな元素について学んでみよう。最初は貴金属(金、銀)から。憧れの貴金属の特徴を知ろう [準備・課題]身近な貴金属とその利用の現状をまとめる(5h)						
2	金属の特徴を知ろう(2) 金属(白金、鉄) 憧れのプラチナ(白金)や鉄の特徴を知ろう [準備・課題]白金や鉄の利用の現状をまとめる(4h)						
3	金属の特徴を知ろう(3) 重金属、必須微量元素 4大公害病など重金属の毒性や体に重要な必須微量元素の重要性について学ぼう。 [準備・課題]毒性のある重金属の所在を調査する。必須微量元素はどんな食品から摂取できるかまとめる(4h)						
4	化学の知識で料理上手になろう(1) 水、味覚、香り 水の特徴や種類、性質を学ぶ。味と香りは料理の重要な要素、どんな物質がそれらの性質を示しているか理解する [準備・課題]人間にとって欠かせない水の特性と性質についてまとめる。料理で重要な味や香りに関して物質レベルで理解する(4h)						
5	化学の知識で料理上手になろう(2) 香料、化粧品 食品や日用品に使われている香料について学ぶ。化粧品の種類やその役割、成分や効能などについて理解する。 [準備・課題]香料及び女性にとって欠かせない化粧品の特性と性質についてまとめ、成分や効果に関して物質レベルで理解する(4h)						
6	化学の知識で料理上手になろう(3) 5大栄養素、炭水化物、脂質 5大栄養素、炭水化物、脂質について理解する。 [準備・課題]5大栄養素、炭水化物、脂質について学んだことを復習する(5h)						
7	化学の知識で料理上手になろう(4) トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味 トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味についてその特徴を理解する。 [準備・課題]トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味について学んだことを復習する(4h)						
8	化学の知識で料理上手になろう(5) 発酵1 発酵とは? 味噌、醤油、みりん、漬物、ヨーグルト、チーズ、アルコール、ワイン、日本酒など発酵食品の種類、製法や発酵の過程について学ぶ [準備・課題]日本の古来からの発酵食品や発酵乳製品など発酵食品の種類や特徴について学んだことを整理する(5h)						
9	化学の知識で料理上手になろう(6) 発酵2 アルコールの作り方などを解説。ウイスキー、アルコール代謝、酢酸、パン、なれずし、納豆の製法やそれらの発酵過程について学ぶ [準備・課題]アルコールをはじめとした発酵プロセスや代謝などについて学んだことを整理する(4h)						
10	化学の知識で料理上手になろう(7) 物質の状態変化、浸透圧 調理の際に用いる調理法は物質の状態変化。圧力鍋、浸透圧など化学現象を理解し調理に役立てる知恵を獲得する [準備・課題]調理と物質の状態変化の関係について復習する(3h)						
11	衣服がかかわる被服関連の知識を獲得しよう(1) 繊維、洗濯表示マーク 衣服に使われている繊維の種類と特徴、洗濯表示マークについて学ぶ [準備・課題]身の回りの衣服に使われている繊維の種類や取り扱い方法などをラベル表示などから整理し理解する(5h)						



内容	
実施回	授業内容・目標
12	化学がかかわる被服関連の知識を獲得しよう (2) 石けん、界面活性剤、ドライクリーニング 洗濯の際に用いる石けんの役割、洗髪の際のシャンプーなど界面活性剤、ドライクリーニングの特徴やそれら洗浄方法の上手な使い分け方について理解する [準備・課題]石けんをはじめとした界面活性剤やクリーニングの基礎知識について整理する(4h)
13	エネルギー (1) 炭素資源、石油、プラスチック 人類のエネルギー供給源である化石燃料について学ぶ。プラスチックの原料など石油の重要度と応用実態を把握する。 [準備・課題]限りある炭素資源(化石燃料)の実情と課題や今後の予測について整理する。石油由来のナフサから製造されているプラスチックについて種類や特徴について整理し理解する(4h)
14	エネルギー (3) 自然エネルギー 太陽光を利用したソーラーセルや風力発電など自然エネルギーについて学ぶ。 [準備・課題]太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など自然エネルギーの実情と課題や今後の予測について整理する(4h)
15	エネルギー (4) 電池 電池の開発の歴史、電池の種類(マンガン電池、ニカド電池、リチウムイオン電池、燃料電池など)、製法と特徴を理解し日常生活で上手に使い分ける方法を理解する。 [準備・課題]スマホなど身の回りにある電池について調べ、整理し理解する(4h)
時間外での学修	理系科目は嫌い、「化学」はおぼえることが多くて嫌い、わからない、難しいといった印象を持っている人が多いかもしれません。日常生活の中で、「化学」がどのように関わっているか、意識して探してみましょう。食品、洗剤など日用品についている成分表なども注意して見てみると面白いですよ。実は皆さんはスマホの充電機や化粧品など様々な「化学」製品に毎日に接していてその恩恵を預かっています。講義中に確認のための小テストを行います。
受講学生へのメッセージ	幼少期、皆さんが「どうして?」「なぜ?」といった疑問を大人の人たちに質問していたことを思い出して、「化学」の世界を一緒に覗いてみましょう。質問などは講義前後の時間に直接、あるいは、電子メールアドレス(koketsu@gifu-u.ac.jp)にて問い合わせください。

基礎生物		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
[教員]：坂口 菜生子						
[関連する資格・履修制限等]：歯科は卒業必修						
授業内容	生物学や生命化学は、私たちの生活のいたるところと密接につながっています。この授業では生物が個体と種を維持するために必要となる基本的な構造や機能について学び、私たちの生活と生命現象の関わりについての考察を深めます。					
授業方法	講義					
到達目標	知識・理解	基本的な生命の形態と機能を理解し、生物学的視野を広めることを目標とする。			◎	
	思考・判断・表現	生物学的知見から、我々の生活と生命科学の関連や問題点を見出し、それに対する考察を行う。			◎	
	技能	生物学の広範な情報の中から、適切な情報を取捨選択し、考察できる。			◎	
	関心・意欲・態度	生物学的知見と身近な生活との関連を見出し、それに対する自分の意見を表明できる。			△	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	定期試験	15	15	15	-	45
	小テスト	15	15	15	-	45
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	30	30	30	10	100
評価の特記事項						
テキスト	『大学で学ぶ身近な生物学』羊土社(3,024円) ISBN:978-4-7581-2060-9					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ヒトの体とエネルギーの関係を理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
2	糖の種類と性質および糖からエネルギーを得るしくみを理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
3	脂質の性質と構造、輸送と代謝を理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
4	ビタミンとミネラルのはたらきを理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
5	細胞の構造と機能を理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
6	DNAの構造とはたらきを理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
7	DNAからタンパク質への流れおよびタンパク質のはたらきを理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
8	細胞内外の情報伝達について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
9	細胞分裂のしくみと制御について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
10	発生と分化について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
11	細胞のストレス応答機構について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
12	免疫システムのしくみについて理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
13	ES細胞とiPS細胞について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
14	再生医療の現在と未来について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
15	アポトーシスと老化について理解し、説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)					
時間外での学修	講義内容が広範囲にわたるので予習、復習をしてください。					
受講学生へのメッセージ	毎回の授業で課題確認の小テストをします。 オフィスアワーは授業終了後、教室にて行います。					

子育て入門(デ音歯看)		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]: 川村 弘子							
[関連する資格・履修制限等]: 歯科は選択必修							
授業内容	子どもの将来の健やかな成長や発達の基礎は、子どもの養育にあたる母親や保育者達が子どもの「育つ力」を信じて笑顔で寄り添い、子ども時代に「本当の子どもの生活を楽しむ」ことにあります。子どもを信じ、子どもと楽しく関わり、生き生きと子育てを楽しむための基礎作りを図ります。						
授業方法	講義を中心にしながら、ビデオ視聴や演習、グループディスカッション等を通して、学生同士の意見交換の場を取り入れます。						
到達目標	知識・理解	子どもを育てる基盤となる内容の理解を深め、知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	時代の変化や様々な価値観のある中で、子どもの養育や保育にあたる立場としての在り方・生き方及び子どもを育てるための柔軟な対応を身につけ、子育ての基礎を身につけることができる。			○		
	技能	子育てに携わる立場としての必要な社会生活の基本や、コミュニケーション能力を身につけることができる。			○		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しを持って主体的かつ意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	-	-	-	30
	授業ごとの振り返り		10	10	-	10	30
	発表・レポート		-	-	5	5	10
	受講態度		-	10	10	10	30
合計(点)		40	20	15	25	100	
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は単位不認定です。						
テキスト	なし						
参考書・教材	『0・1・2歳児の心の育ちと保育』小学館 『乳児保育』・『幼児理解と保育援助』ミネルヴァ書房 『子どもの育ちと保育の本』・『心の育ちと対話する保育の本』学研 その他、授業で紹介します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス「子育て・子育ての理解を深めながら、子どもの素晴らしさを知る」 自分自身の子ども時代を振り返りながら「自分育ち」を見つめ直し、自己理解から入る [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
2	親子の絆①いろいろな事例を通して、親子の絆について理解を深める [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
3	親子の絆②いろいろな事例を通して、より深い子ども理解に繋げる [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
4	子育てをめぐる親の意識と現状について [課題] 近年の子育てに関する問題について理解を深める (4h)						
5	乳児の理解と接し方① 0～5か月頃 応答的かかわりについて [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
6	乳児の理解と接し方② 6～11か月頃 発達を促すかかわりについて [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
7	乳児の理解と接し方③ 1歳頃 発達の様子と個人差 [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
8	幼児の理解と接し方① 2歳頃 自我の拡大から自我の充実へ [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
9	幼児の理解と接し方② 3歳頃 就園に向けて 社会生活の広がり [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
10	子育てアラカルト① しつけについて 基本的な生活習慣とは [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
11	子育てアラカルト② 伝統文化の生かし方、楽しみ方 [課題] 伝統文化や季節の行事などについて調べておく (4h)						
12	子育てアラカルト③ 絵本の楽しみ方 [課題] 年齢にあった絵本選びとその読み聞かせ (4h)						
13	子育てアラカルト④ 手作りおもちゃの楽しみ方 [課題] 乳幼児の手作りおもちゃを考える (4h)						
14	子育てアラカルト⑤ 食育、自然体験について [課題] 学修した内容を復習する (4h)						
15	まとめ 子育て、子育ての振り返りと今後の課題について [課題] 「自分の育ち」について振り返り、将来の母親像をまとめておく。(4h)						
時間外での学修	学んだ内容について子育て事例を通して「自分の育ち」を振り返り、子育ての大切さを感じていきましょう。						
受講学生へのメッセージ	子育てについてのアラカルトを紐解きながら、子どもの心や接し方を学び、子育てに喜びや楽しみが持てる基本的資質の滋養を目指しましょう。 オフィスアワーは授業の前後の休み時間に教室で行います。						

音楽療法入門		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：小西 文子							
[関連する資格・履修制限等]：特になし							
授業内容	音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学ぶ。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験する。						
授業方法	講義と簡単な演習、音楽療法の実践現場のDVDやCDの視聴も授業内で行う。						
到達目標	知識・理解	音楽療法について基礎的な知識を得ている。			◎		
	思考・判断・表現	高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	音楽の療法的な用いられたかたについて関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		40	20	-	-	60
	課題提出		-	20	-	20	40
	合計(点)		40	40	-	20	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。						
テキスト	『補完・代替医療音楽療法 第3版』金芳堂(2,268円) ISBN:978-4-7653-1708-5						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	音楽療法の定義、聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
2	音楽療法の歴史1：原始時代から古代ギリシャにかけて [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
3	音楽療法の歴史2：古代ギリシャから中世、近代音楽療法の発展について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
4	高齢者の音楽療法1：認知症の種類、音楽活動について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
5	高齢者の音楽療法2：実際の音楽療法活動 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
6	高齢者の音楽療法3：歌唱、楽器、即興演奏と連想について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
7	児童分野の音楽療法1：特別支援教育について、自閉症について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
8	児童分野の音楽療法2：不登校児、ぜんそく児への音楽療法 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
9	児童分野の音楽療法3：行動主義的アプローチについて [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
10	精神科の音楽療法：統合失調症について、実際の音楽活動 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
11	医療現場の音楽療法1：ホスピス、緩和ケアの音楽療法 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
12	医療現場の音楽療法2：看護師と共同で取り組む音楽療法 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
13	医療現場の音楽療法3：NICUにおける音楽療法 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
14	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、地域における音楽療法 [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
15	音楽療法の手順、目標設定について [準備・課題]学んだ内容の復習(4h)						
時間外での学修	内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる						
受講学生へのメッセージ	楽器を演奏する体験、立ちあがって動く体験などが授業に含まれます。積極的に参加してください。オフィスアワーは研究室(B403:B号館4階)で毎週木曜日の14:40~16:10です。						

美術入門		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
[教員]：竹村 朋子							
[関連する資格・履修制限等]：歯科は選択必修							
授業内容	西洋美術の通史の中で各時代様式を取りあげ、その代表する芸術作品を紹介しながら「見る」こととは何かを考える。						
授業方法	プリント、映像資料を用いた講義形式の授業						
到達目標	知識・理解	通史に沿って授業を通して、西洋美術を理解するための必要な知識を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	西洋美術作品をその歴史的制作背景等も含め深く理解し、自分の言葉で解説することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	授業の中でいくつかの作品をピックアップして紹介し、詳細な観察及び分析を行うが、それについて疑問・感想を自分の言葉で表現することができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		40	10	-	-	50
	コメントペーパー		-	30	-	10	40
	課題の遂行		-	-	-	10	10
	合計(点)		40	40	-	20	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生には単位修得及び筆記試験受験の資格はありません。						
テキスト	テキストはありません。						
参考書・教材	プリント・資料は授業ごとに配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス インTRODAKション 授業の流れを説明する [準備・課題]授業の流れを把握する (1h)						
2	ギリシア美術・ローマ美術 ギリシア、ローマ美術の特徴を彫刻や壁画から理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
3	中世美術①(初期キリスト教美術・ビザンティン美術) キリスト教が美術作品に与えた影響を学ぶ [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
4	中世美術②(初期中世美術・ロマネスク美術) さらに広がるキリスト教美術の影響を美術作品や建築物から理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
5	中世美術③(ゴシック美術) 教会堂建築及び教会堂扉口彫刻から当時の思想を読み解く [準備・課題]第5回までの授業の復習プリント(5h)						
6	イタリア初期ルネサンス美術 マザッチョ、フラ・アンジェリコなどの作品を取り上げ、その特徴を理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
7	イタリア盛期ルネサンス美術① ルネサンス期の頂点を極めるこの時代を、ダ・ヴィンチの作品を中心に取り上げ、理解を深める [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
8	イタリア盛期ルネサンス美術② 前週に引き続き、盛期ルネサンスにおいて重要な役割を果たした、ラファエロ、ミケランジェロの作品を取り上げ、ルネサンス美術について総括する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
9	マニエリスム エル・グレコなどの作品から、マニエリスムの特徴を理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
10	北方美術(ファン・エイクなど) ファン・エイクなどの作品から、ルネサンス美術とは異なる北方美術の特性を観察する [準備・課題]第6回から10回までの授業内容の復習プリント(5h)						
11	バロック美術①(カラヴァッジョ、ベラスケスなど) ヨーロッパ各地に広まったバロック美術について、イタリア、スペインの代表的な画家であるカラヴァッジョやベラスケスの作品を取り上げ、その様式の特徴と作品の特性について理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
12	バロック美術②(レンブラントなど) 前週に引き続き、バロック美術について学び、その中でもレンブラントを中心に取り上げる [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
13	ロココ美術 ロココ美術では、ヴァトールとフラゴナールの作品を取り上げ、その主題や様式の特性を理解する [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
14	近代美術①(新古典主義・ロマン主義など) めまぐるしく変化する時代の中で生まれた近代美術について、新古典主義、ロマン主義の作品を見ていく [準備・課題]授業内容の復習(4h)						
15	近代美術②(写実主義・印象派など) 前週に引き続き、近代美術として、写実主義、印象派の作品を扱う。産業革命などの技術的革新が芸術作品に及ぼした影響を踏まえて作品を理解する [準備・課題]第11回から15回までの復習プリント(5h)						
時間外での学修	美術に関する本なども読んでみましょう。 また、興味をもった展覧会などにも足を運び、実際に作品を鑑賞することも大事です。						
受講学生へのメッセージ	絵画でも彫刻でも身の回りにあるものなど興味のあるものを注意深く観察してみましょう。それによって美術史への理解が深まるのです。 オフィスアワーは水曜日の12時10分～13時です。(講義室あるいは非常勤講師控室にあります。)						

スポーツ演習 I (デ音歯看)		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
[教員]：中野 由香里・日比 千穂						
[関連する資格・履修制限等]：看護は選択必修						
授業内容	「筋力」「持久力」「瞬発力」「心肺持久力」「敏捷性」「柔軟性」といった運動要素や身体の動きを総合的にコントロールする「調整力」をバランスよく向上させるため、楽しみながらできるスポーツやゲームを通じて集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させる事がねらいです。					
授業方法	グループや個人で活動します。第8回・15回は実技試験（体力測定・記録会）となります。この授業は全て実技になります。					
到達目標	知識・理解	ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。			○	
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。			○	
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力することでより良いプレーができる。			◎	
	関心・意欲・態度	自分の体について興味関心を持ち、積極的にスポーツやゲームに参加することができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	受講態度	15	-	15	-	30
	実技試験	-	10	20	10	40
	レポート	-	-	-	15	15
	自己評価	-	15	-	-	15
	合計(点)	15	25	35	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス（授業内容の説明）、準備運動、アイスブレイキング1、チャレンジ・ザ・ゲームについて [準備・課題]授業内容を把握し、準備体操の復習をする。(1h~2h)					
2	アイスブレイキング2、インディアカ（グループ分け・練習） [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)					
3	アイスブレイキング3、インディアカ（試合） [準備・課題]インディアカのルールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
4	アイスブレイキング4、ソフトバレーボール（グループ分け・練習） [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解する。(1h~2h)					
5	アイスブレイキング5、ソフトバレーボール（試合） [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
6	アイスブレイキング6、キンボール（練習） [準備・課題]キンボールのルールを理解する。(1h~2h)					
7	アイスブレイキング7、キンボール（試合） [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
8	体力測定（実技試験） [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h~2h)					
9	集団ゲーム1、ドッジ・ビー [準備・課題]ドッジ・ビーのルールを理解し、取組を振り返る。(1h~2h)					
10	集団ゲーム2、バドミントン（練習） [準備・課題]バドミントンのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)					
11	集団ゲーム3、バドミントン（試合） [準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
12	チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ） [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。(1h~2h)					
13	チャレンジ・ザ・ゲーム（個人種目） [準備・課題]個人種目のルールを理解する。(1h~2h)					
14	チャレンジ・ザ・ゲーム（総練習） [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。(1h~2h)					
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会（実技試験） [準備・課題]記録をレポートにまとめる。(1h~2h)					
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。					
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分に注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。					

スポーツ演習Ⅱ(デ音歯看)		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 中野 由香里・日比 千穂							
[関連する資格・履修制限等]: 看護は選択必修							
授業内容	親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を取り入れ、基礎体力作りを心がけて学修します。楽しみながらできるスポーツやゲームの中で集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させるようにすることがねらいです。						
授業方法	受講生同士の交流を深めるために、決められたグループで活動することがあります。第8回目、15回目は実技試験(体力測定・記録会)となります。15回全て実技となります。受講人数により、内容が変更される場合があります。						
到達目標	知識・理解	ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。			○		
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。			○		
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力しながら記録に挑戦することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	自分の体についてよく理解し、興味関心を持ち、積極的に運動と関わることができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	受講態度		15	-	15	-	30
	実技試験(2回)		-	10	20	10	40
	レポート(毎回)		-	-	-	15	15
	自己評価(毎回)		-	15	-	-	15
	合計(点)		15	25	35	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス(授業内容の説明)、準備運動、アイスブレイキング、ドッジ・ビー [準備・課題]授業内容を把握する。(1h~2h)						
2	アイスブレイキング1、インディアカ(グループ分け・練習) [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
3	アイスブレイキング2、インディアカ(試合) [準備・課題]インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
4	アイスブレイキング3、ソフトバレーボール(グループ分け・練習) [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
5	アイスブレイキング4、ソフトバレーボール(試合) [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
6	アイスブレイキング5、バスケットボール(グループ分け・練習試合) [準備・課題]バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
7	アイスブレイキング6、バスケットボール(試合) [準備・課題]バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
8	体力測定(実技試験) [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h~2h)						
9	集団ゲーム1、キンボール(練習) [準備・課題]卓球・キンボールのルールを理解する。(1h~2h)						
10	集団ゲーム2、キンボール(試合) [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
11	集団ゲーム3、バドミントン(練習・試合) [準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
12	チャレンジ・ザ・ゲーム(ロープジャンプ) [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。(1h~2h)						
13	チャレンジ・ザ・ゲーム(個人種目) [準備・課題]個人種目のルールを理解する。(1h~2h)						
14	チャレンジ・ザ・ゲーム(総練習) [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。(1h~2h)						
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会(実技試験) [準備・課題]記録会をレポートにまとめる。(1h~2h)						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。						
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。						

体育 I (幼児教育学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	実技	45時間	
[教員]：中野 由香里						
[関連する資格・履修制限等]：特になし						
授業内容	第1回～第15回の授業では、親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を中心に基礎体力づくりを心がけて実施します。定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣の確立を目指します。16回～22回の授業では、コミュニケーションを図りながら集団意識を高めるために創作ダンスを実施します。仲間意識を大切に、一つの作品を完成させて発表することがねらいです。					
授業方法	第1回～15回の授業は、当日の種目をグループまたは個人で実施します。種目によって競技に発展することがあります。第16回～第22回の授業は、ダンスの基本的な動きを習得し、グループに分かれて創作ダンスを完成させます。					
到達目標	知識・理解	体力づくりを心がけ、体育のおもしろさを十分に体験することができる。			◎	
	思考・判断・表現	集団活動のなかで自分の役割を把握し、集団意識を高めながらスポーツに参加することができる。			○	
	技能	創作ダンスについて理解し、テーマに沿った創作ダンスの発表ができる。			○	
	関心・意欲・態度	自己の体力について知ることで、生活スタイルの気づきや見直しができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート (毎回)	40	-	-	-	40
	自己評価 (毎回)	-	20	-	-	20
	発表 (1回)	-	-	15	-	15
	受講態度	-	-	-	25	25
合計(点)	40	20	15	25	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	幼稚園教育要領員解説、保育所保育指針、幼児体育、必要に応じて資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(授業内容の説明)：[準備・課題]授業内容を把握し、全体の計画を立てる。(1h～2h)					
2	ドッジボール [準備・課題]本時の授業を振り返り、コミュニケーションについてノートにまとめる。(1h～2h)					
3	インディアカ(基本)：[準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)					
4	インディアカ(試合)：[準備・課題]インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
5	ソフトバレーボール(グループ分け・ミニゲーム) [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)					
6	ソフトバレーボール(試合) [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
7	体力測定(準備)、卓球：[準備・課題]体力測定について理解し、体調を整える。(1h～2h)					
8	体力測定(実技試験)：[準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h～2h)					
9	バスケットボール(チーム決め・チーム練習) [準備・課題]バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)					
10	バスケットボール(ミニゲーム) [準備・課題]バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
11	バドミントン(チーム決め・ミニゲーム) [準備・課題]バドミントンのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)					
12	バドミントン(試合)：[準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
13	チャレンジ・ザ・ゲーム(基本) [準備・課題]チャレンジ・ザ・ゲームの種目を理解し、作戦を立てる。(1h～2h)					
14	チャレンジ・ザ・ゲーム(種目練習) [準備・課題]個人種目を決定し、記録会に向けて準備をする。(1h～2h)					
15	チャレンジ・ザ・ゲーム(記録会)：[準備・課題]記録をレポートにまとめる。(1h～2h)					
16	創作ダンスのVTRをみてグループ決め [準備・課題]創作ダンスのイメージをふくらませ、情報収集する。(1h～2h)					
17	創作ダンス1(イメージづくり)：[準備・課題]創作ダンスのイメージを整理する。(1h～2h)					
18	創作ダンス2(イメージ・構成づくり) [準備・課題]グループ内で役割を決定し、練習計画を立てる。(1h～2h)					
19	創作ダンス3(構成まとめ)：[準備・課題]構成の確認をし、発表に向けて練習をする。(1h～2h)					
20	創作ダンス4(構成仕上げ)：[準備・課題]発表に向けて練習をする。(1h～2h)					
21	創作ダンス5(構成仕上げ・発表練習)：[準備・課題]発表の最終確認をし、準備する。(1h～2h)					
22	創作ダンス6(舞台発表)：[準備・課題]発表を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。また、発表に向けてグループ練習を積極的に実施してください。					
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるように一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意(熱中症対策は各自準備すること)してください。運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室(H203：H号館)で毎週金曜日の12：15～12：45です。					



体育Ⅱ(幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	講義	15時間		
[教員]: 中野 由香里							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	健康は、充実した生活を送るために不可欠となる要因のひとつです。より良い健康的な生活を送るために、自分自身の生活習慣を見直し、健康について基礎知識を身につけます。						
授業方法	全て講義となります。グループ活動による調べ学習形式です。図書館等を利用し調べたことをまとめて発表します。						
到達目標	知識・理解	健康について理解し発表することができる。			◎		
	思考・判断・表現	課題を作成し、提出することができる。			○		
	技能	自分自身のライフスタイルの見直しができる。			○		
	関心・意欲・態度	計画的に学習する姿勢がみられる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(毎回)		40	-	-	-	40
	提出物		-	20	-	-	20
	発表(1回)		-	-	10	-	10
	小テスト(1回)		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育資料は、必要に応じて配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス(グループ分け)、ライフスタイルの見直し [準備・課題]調べ学習について理解し、自分の担当領域の確認と今後の計画をノートにまとめる。 (4h~6h)						
2	調べ学習のテーマについて(調べ学習の計画) [準備・課題]調べ学習のテーマについて理解しする。(4h~6h)						
3	調べ学習1 [準備・課題]生活習慣について見直し、生活リズムの改善を試みる。(4h~6h)						
4	調べ学習2 [準備・課題]日々の生活の中で正しい姿勢を心がける。(4h~6h)						
5	調べ学習3 [準備・課題]本時の内容についてノートにまとめる。(4h~6h)						
6	調べ学習まとめ [準備・課題]発表の準備。(4h~6h)						
7	発表 [準備・課題]課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
8	小テスト [準備・課題]筆記試験に向けてノートをまとめ、復習する。(4h~6h)						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、自分の生活スタイルの見直しに心がけてください。						
受講学生へのメッセージ	毎時間の授業の中でメモを取ることを忘れず、自分の生活スタイルに役立てるよう集中して受講してください。 オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。						

情報科学		教養科目		1年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]：大橋 みどり・梶山 記久子							
[関連する資格・履修制限等]：幼教は卒業必修							
授業内容	現代社会において必須となっているIT基本ツールであるWord(ワード・ワープロソフト)およびExcel(エクセル・表計算ソフト)の操作方法を習得し、社会人として即戦力と成り得る技能を身に着ける。 Word：社内外向け文書、ビジュアル要素を取り入れた文書を見栄えよく作成する。 Excel：表作成・計算式や関数入力・グラフ作成を基礎から学習する。						
授業方法	講義およびパソコン演習						
到達目標	知識・理解	コンピュータの基本的操作ができる。 WordおよびExcelの基本的な操作ができる。			○		
	思考・判断・表現	Wordにおいては目的に即した見る人にわかりやすく美しい文書が作成できる。 Excelにおいては適切な表書式の設定、基本的な式や関数の使用、効果的なグラフの選択ができる。			◎		
	技能	Wordにおいては自分でレイアウトを考えて実用的な文章が作成できる。 また、指定された文書を間違いない素早く作成できる。 Excelにおいては示された課題を素早く正確に作成できる。			◎		
	関心・意欲・態度	演習に意欲的に取り組むことができる。 コンピュータ操作、Word、Excel等の操作を進んで取得しようとする。 授業中に完成できなかった練習問題及び宿題は次週までに仕上げておく。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	Word課題提出		10	15	15	-	40
	Excel筆記試験		10	15	15	-	40
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	Word：課題提出：第8回に実施 Excel：筆記試験：定期テスト期間に実施 受講態度：毎回						
テキスト	『30時間でマスター Word&Excel2016』実教出版(1,026円) ISBN:978-4-407-34019-8						
参考書・教材	USBフラッシュメモリーを各自準備してください						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	IT基礎：授業ガイダンス。パソコン、IT基礎(学内パソコン使用上の注意、インターネット基礎、ネットワーク使用上の注意点など)について学び、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。 [準備・課題]学んだ内容を復習・確認し、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。(0.5h)						
2	Word：Word2007の画面構成及び用語、基本操作(起動・終了・文書の作成・保存など)について学ぶ。 [準備・課題]Wordの基本操作(起動・終了・文書の作成・保存など)ができるようになる。(1h)						
3	Word：いろいろな編集機能(文字の装飾・書式設定など)を用いて見易い文書を作成できるようになる。 [準備・課題]編集機能を復習する。(1h)						
4	Word：表の挿入・編集を学ぶ。基本的な表から始め、複雑な表を作れるようになる。 [準備・課題]複雑な表が作成できるよう復習する。(2h)						
5	Word：ビジュアル要素(ワードアート・クリップアート・図形・ページ罫線など)の挿入方法を学び、見易くインパクトのある文書を作成できるようになる。 [準備・課題]ビジュアル要素挿入の復習をする。(1h)						
6	Word：問題演習 いろいろな用途に応じた文書を作成する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。(1h)						
7	Word：問題演習 用途に応じ、ビジュアル要素の入った文書を作成できるようになる。 [準備・課題]授業中に完成できなかった課題を完成させる。(1h)						
8	Word：課題作成・提出(学科ごとに与えられたテーマに従って、わかりやすく見栄えの良い文書を作成する。) [準備・課題]これまで学修したWordの各機能について総復習する。(2h)						
9	Excel：Excel2007の画面構成及び用語、基本操作(起動・終了・ブックの作成・保存など)について学ぶ。 [準備・課題]Excelの基本操作(起動・終了・文書の作成・保存など)ができるようになる。(1h)						
10	Excel：計算式の入力方法、合計・平均の計算、書式の設定 [準備・課題]Excelの基本入力ができ、書式を整えた表が作成できるようになる。(2h)						
11	Excel：グラフの作成方法を学ぶ。基本的なグラフからはじめ、見やすく効果的なグラフが作成できるようになる。 [準備・課題]見やすく効果的なグラフを素早く的確に作成できるよう操作の復習をする。(2h)						
12	Excel：基本的な関数(最大・最小・COUNTなど)の挿入ができるようになる。 [準備・課題]関数挿入方法を復習する。(1h)						
13	Excel：絶対参照を用いる場合とその使い方を習得する。 [準備・課題]絶対参照を使用する場合の確認とその使用方法を復習する。(3h)						
14	Excel：IF関数など、複雑な関数の挿入ができるようになる。 [準備・課題]複雑な関数の挿入方法を復習する。(2h)						
15	Excel：問題演習 表作成から関数挿入、グラフ作成まで総合的な問題を処理する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。(2h)						
時間外での学修	授業時間内にできなかった練習問題等は次の時間までに仕上げておくようにしてください。 学内・自宅において空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、パソコンに慣れ、技能を身につけてください。 入力が苦手な人は進んで入力練習をしてください						
受講学生へのメッセージ	演習中心の授業となるため授業中は積極的に課題に取り組んでください。私語・私事は厳禁です。 オフィスアワーは授業後パソコン室で行います。						

情報活用(幼児教育学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 矢田貝 真一						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	暮らしの中には情報があふれ、この情報の活用のためにさまざまな分野でコンピュータが利用されています。情報とは何か、生活を豊かにするためには情報をどのように活用すべきなのか考え、特に保育者としてコンピュータをどのように利用すべきなのかなどについて理解しながら、保育に関するプレゼンテーション能力を中心に情報活用の発展的なスキルを身につけていきます。					
授業方法	保育を中心にしながら情報の意味や実際の活用について、コンピュータを利用した作品づくりをとおして学ぶという演習形式の授業を展開します。					
到達目標	知識・理解	情報や情報機器に関する基本的な知識を身につけることができる。			○	
	思考・判断・表現	情報を活用することをとおして、専門分野と関連する基本的な思考力や判断力、表現力を身につけることができる。			○	
	技能	情報機器の活用についての基本的な技能を身につけることができる。			◎	
	関心・意欲・態度	情報活用について興味や関心を持ち、将来の社会的役割と結びつけながら活用する努力や工夫をして、積極的に学修に取り組むことができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	10	-	20	-	30
	制作物・発表	10	10	20	-	40
	課題	-	5	-	5	10
	自己評価	-	5	-	5	10
	受講態度	-	-	-	10	10
合計(点)	20	20	40	20	100	
評価の特記事項	自己評価は学修成果に対する自己の評価、受講態度は学修・発表・提出等の状況とします。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。					
テキスト	ありません					
参考書・教材	必要な資料は配付しますが、別にフラッシュメモリーが必要となります(授業で指示します)。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス(この授業の目標と内容、学び方を理解し、コンピュータについての基本的知識と技能を確認する) [準備・課題] 基本的知識や技能を復習する (1~3h)					
2	情報活用に関する基本的知識と技能(1)(コンピュータの特性、基本ソフトの利用方法などを理解する) [準備・課題] 学んだ内容と基礎となる基本的技能を復習する (1~3h)					
3	情報活用に関する基本的知識と技能(2)(著作権の概要と留意内容、ネチケットなどを理解する) [準備・課題] 学んだ内容と基本的技能を復習する (1~3h)					
4	保育における情報活用(調べてきた課題も活用しながら、保育者として身につけておくべき知識・技能、保育現場の状況などを理解し、確実に身につける) [準備・課題] 学んだ内容を復習し具体的な保育現場での活用例を調べてまとめる (1~3h)					
5	プレゼンテーションの準備(1)利用ソフトの概要(MS Power Pointの概要と使い方を理解し、文書ソフトの復習を行って活用できるようにする) [準備・課題] 学んだソフトについて復習する (1~3h)					
6	プレゼンテーションの準備(2)文書ソフト等とMS Power Pointの基本練習(授業外の課題も活用しながら、基本操作を確実に理解して習得し、操作ができるようにする) [準備・課題] 学んだソフトについて活用できるように復習する (1~3h)					
7	プレゼンテーション資料の作成(1)(幼児教育に関する課題の説明を理解し、テーマの選択と資料作成に向けた準備をはじめ) [準備・課題] テーマを決定して計画を完成させる (1~3h)					
8	プレゼンテーション資料の作成(2)(授業外の課題も活用して、文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料の作成<その1>をはじめ) [準備・課題] 資料作成の計画と実際の進捗を調整する (1~3h)					
9	プレゼンテーション資料の作成(3)(前時の取組<その2>を継続する) [準備・課題] 計画と進捗の調整と中間のまとめの準備をする (1~3h)					
10	プレゼンテーション資料の作成(4)(中間のまとめを行う、前時の取組<その3>を継続する) [準備・課題] 中間のまとめの結果を振りかえる (1~3h)					
11	プレゼンテーション資料の作成(5)(前時の取組<その4>を継続する) [準備・課題] 発表の準備を行い、必要に応じて進捗に合わせて資料作成にあたる (1~3h)					
12	プレゼンテーション資料の作成(6)(授業外の取組も活用しながら、文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料を完成させる) [準備・課題] 発表の準備を練習もあわせて確実に(2~5h)					
13	制作した作品の発表(1)(資料を用いた発表と相互評価を行う<その1>) [準備・課題] 発表の準備をする/発表した資料の手直しをする (1~3h)					
14	制作した作品の発表(2)(前時の取組を継続する<その2>) [準備・課題] 発表した資料の手直しをする (1~3h)					
15	まとめ(学修して身につけた知識や技能についてまとめる) [準備・課題] 制作物の提出と学んだ内容を総合的に復習する (1~3h)					
時間外での学修	[準備・課題]は授業の到達目標を達成するために必要となる内容ですので、( )の標準学修時間をめどとして確実に学修しましょう。					
受講学生へのメッセージ	前期授業の「情報科学」における基本的な操作を復習するとともに、制作にあたっては保育に関する自分なりの課題をもつてのぞんでください。制作物の提出期限は厳守すること。オフィスアワーはA305(A号館3F)で毎週木曜日の16:20から17:30です。質問等があれば、どうぞ。					

情報活用(デ音歯看)		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 大橋 みどり・梶山 記久子							
[関連する資格・履修制限等]: 前期『情報科学』履修者のみ可							
授業内容	前期『情報科学』で学修した基礎から一步進め、実用的なパソコンの活用方法を学びます。 Excel: 演習を中心に行なうことによって応用力を身に付け活用できる能力を養成します。 PowerPoint: 情報化が進む社会ではプレゼンテーション能力が重視されています。IT時代に即した効果的なプレゼンテーション資料の作成方法と発表の仕方について学びます。						
授業方法	講義、演習問題、プレゼンテーション資料の作成、発表体験 等						
到達目標	知識・理解	IT用語を理解し、基本的なコンピュータのスキルを身に付けることができる。			◎		
	思考・判断・表現	SNS等、インターネットを利用する上で社会人としてのマナーを守ることができる。			○		
	技能	アプリケーションソフトの特徴を理解し、応用活用できる技術を取得することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	ビジネスソフトの活用やネットコミュニケーション等、関心を持ち自主的に理解しようと努力する。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	Excel課題提出		20	-	-	-	20
	プレゼン用の資料作成		10	-	20	-	30
	プレゼンの発表		-	20	10	-	30
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		30	20	30	20	100	
評価の特記事項							
テキスト	『30時間でマスターWord&Excel2016』実教出版 前期[情報科学]で使用したものを引き続き使用します。 (1,026円) ISBN:978-4-407-34019-8 『ドリルでマスター! PowerPoint2016&プレゼンテーション』noa出版(1,428円) ISBN:978-4-908434-12-9						
参考書・教材	データ保存用に前期で使用したUSBメモリーを用意してください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	Excel 前期基本操作の復習(関数、グラフ作成、データベース機能) [準備・課題]基本操作の練習問題(1h)						
2	Excel 端数処理をする数学・三角関数(ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN) [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
3	Excel データを判定する論理関数(IF)の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
4	Excel データを判定する論理関数(IF)の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
5	Excel 縦方向に表データを検索する検索・行列関数(VLOOKUP)の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
6	Excel 縦方向に表データを検索する検索・行列関数(VLOOKUP)の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
7	Excel 条件を付けて集計する数学・三角関数(COUNTIF)(SUMIF) [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
8	Excel 演習問題にて総復習 [準備・課題]中級関数に関して練習問題にて総復習する(1h)						
9	PowerPoint プレゼンテーションの基本(起動・作成・編集)STEP 2・4・5 [準備・課題]基本操作を簡潔にまとめる(1h)						
10	PowerPoint 特殊な文字・イラスト・表・グラフ・図形の挿入 STEP 6・7・8 [準備・課題]テキストの練習7・8・9で復習し理解を深める(1h)						
11	PowerPoint 演習 Drill 1~4 [準備・課題]Drill 5~7で復習し理解を深める(1h)						
12	PowerPoint 画面の切り替え・アニメーション効果 STEP 9 [準備・課題]練習10・11で復習し理解を深める(1h)						
13	PowerPoint 資料作成の注意点及び発表の準備 STEP 1・3・10 [準備・課題]テーマを考えスライドデザインを作成する・資料収集(1h)						
14	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成1(テーマは自由とする) [準備・課題]資料の作成(2h)						
15	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成2 完成させる [準備・課題]全体の調整と発表技法を考える(2h)						
時間外での学修	授業時間内にできなかった演習問題等は必ず仕上げておくようにしてください。自宅にパソコンがない学生は学内でもできます。 空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、技能を身に付けてほしいと思います。						
受講学生へのメッセージ	コンピュータウイルスや不正アクセスからの防御や情報紛失を防ぐための意識を持ち、パソコンを利用するときのマナーやルールを守って自分の身を守るようこころがけてください。 オフィスアワーは授業後のパソコン教室で行います。						

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
[教員]: 中野 由香里・名和 孝浩・今村 民子・内藤 敦子・松村 齋・水谷 聡美・光井 恵子							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短期大学での学びや社会人になるために必要な基礎的な知識、技能やコミュニケーション能力について多面的に学びます。また、将来保育者として必要とされる社会性や協調性についても学ぶとともに、社会的・職業的の自立に向けて、自己認識と将来設計について考えます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的の自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入内容を評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要に応じて配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト 自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program① 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ① 5学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(5学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	基礎教養を確かめよう(1): 日本語検定を受けてみよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
5	基礎教養を確かめよう(2): 日本語検定の問題集を通して、自分の持てる力を確かめよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
6	基礎教養を確かめよう(3): 日本語検定の模擬試験を通して、自分の持てる力を確かめよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
7	基礎教養を高めよう(1): 日本語検定受験に向けて、自分の持てる力を高めよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
8	日本語検定受験(6/8に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話 「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	俳人松尾芭蕉: 「奥の細道」の結びの地として、また水の都とも呼ばれる大垣の郷土や歴史を調べ、学外研修(郷土巡り)を通して、豊かな自然や歴史に触れる [課題] 資料をまとめ、感想等をまとめる(1h)						
11	保育に生かす知識と技能(1): 保育場面でも使える集団遊びの体験を通して、保育者になる心構えを持つ [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
12	保育に生かす知識と技能(2): エプロンシアターの演じ方や楽しさを知り、表現力を培う(外部講師) [課題] 授業を振り返り感想等をまとめる(1h)						
13	保育に生かす知識と技能(3): 保育ボランティアや保育実習などで使える名札作りを通して、保育者になる心構えを持つ [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
14	講話 「女性の健康と命の大切さ」(外部講師: 前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	前期のまとめ: (1)日本語検定の振り返り (2)前期の学修の振り返り (3)自己の課題を確認し、今後に向けての取り組みについて考える [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1~2h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容についての考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めてください。分からない点は図書館等で調べ解決すること。						
受講学生へのメッセージ	授業内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修にのぞんでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、チューターの研究室(旧館2F)へ来て相談してください。						

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(デザイン美術学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
[教員]: 田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・植田 努							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短期大学での学び方を理解し、基礎的な学習技術を習得します。合わせて社会人となるために必要な基本的な教養や行動様式を学びます。さらに、美術表現を一層豊かに奥深くするための素養として、広範な世界を学びます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			◎		
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる。			○		
	技能	短期大学で必要となる基礎的な学びの技能が身についている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組んでいる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	評価は、主に記録ノートとレポート、グループワークにおいて行います。未提出課題は、評価対象外となりますので、記録ノートとレポートは、必ず提出してください。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は、単位を与えません。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト 自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program① 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ① 5学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(5学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	日本語学習① 概要説明 模擬テスト [課題] テスト内容をしっかりと振り返り、不十分だったところを復習する(2~3h)						
5	日本語学習② 敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [確認] [課題] (1)学んだ内容を復習する(2~3h)						
6	日本語学習③ 敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [定着] [課題] (1)学んだ内容を復習する(2~3h)						
7	日本語学習④ 敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [復習] [課題] (1)学んだ内容を復習する(2~3h)						
8	日本語検定受験(6/8に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話 「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	共同作業体験Ⅰ みずき祭について、各クラスに分かれて内容を検討することによりクラス内のコミュニケーションを深める [課題] 目的を確認し、取り組んだことを復習し、出された課題に取り組む(1h)						
11	専門的職業講話Ⅰ美術編 社会で活躍している方の話を聞く [課題] (1)学んだ内容を復習する(2)レポートを書く(1h)						
12	専門的職業講話Ⅱマンガ編 社会で活躍している方の話を聞く [課題] (1)学んだ内容を復習する(2)レポートを書く(1h)						
13	専門的職業講話Ⅲデザイン編 社会で活躍している方の話を聞く [課題] (1)学んだ内容を復習する(2)レポートを書く(1h)						
14	講話 「女性の健康と命の大切さ」(外部講師:前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	未来の姿を描くⅠ 専門科目の理解と将来構想 [課題] 自己の将来構想についてしっかりと考え、コース目標やねらい、専門科目の内容について理解し、コース選択について考える。(1h)						
時間外での学修	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぶとする意識をもって受講してください。事前に配布する「受講記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。						

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(音楽総合学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・小西 文子・横井 香織・松永 幸宏						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。					
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講してください。					
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○	
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			◎	
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	学修記録ノート	25	30	20	25	100
	合計(点)	25	30	20	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。					
参考書・教材	授業内で指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	基礎教養テスト 自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)					
2	初年次教育Start program① 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
3	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ① 5学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(5学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)					
4	「日本語検定」準備学習(1) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)					
5	「日本語検定」準備学習(2) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)					
6	「日本語検定」準備学習(3) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)					
7	「日本語検定」準備学習(4) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)					
8	日本語検定受験(6/8に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)					
9	講話 「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
10	専門的職業講話Ⅰ: ピアノ、電子オルガン、音楽療法編(専門職に従事している卒業生) [課題] 学んだ内容を振り返る(1~2h)					
11	個別面談(1) コース別に分かれてチューターと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
12	個別面談(2) コース別に分かれてチューターと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
13	共同作業演習Ⅰ: コース別に分かれて取り組む [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
14	講話 「女性の健康と命の大切さ」(外部講師: 前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
15	前期のまとめと後期の準備 [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、受講しての感想や内容に関しての自らの考察を記入しますが、時間内に記入できなかった場合は次回までに記入し、担当教員まで提出してください。 また、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めましょう。					
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し、臨んでください。広範囲な講義、演習です。毎回欠席することなく受講してください。 オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。					

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(歯科衛生学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 海原 康孝・久本 たき子・村田 宜彦・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・三角 洋美・戸倉 さち子						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	本学の建学の精神と教育方針に沿った学修成果の達成に向けて、受講生が主体的に学び、幅広い視野を持ち知的基盤等を教養として身につけるようにします。その基礎となる短期大学での学び方や人間の理解を中心に、学問的知識・技能や思考方法、社会人となるための知識・行動様式などを学んでいくための基本的内容を総合的に理解することを目的とします。					
授業方法	学生相互及び教員とのコミュニケーションを図りながら体験的に学修します。全学単位、学科単位など授業形態が異なります。講義形式、あるいは演習等のグループワーク、発表があります。					
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる			△	
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる			△	
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身に付いている			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	学修記録ノート	-	-	25	-	25
	レポート	-	5	-	-	5
	発表	10	-	-	-	10
	受講態度	-	-	-	60	60
	合計(点)	10	5	25	60	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記載・提出、レポート(第9回:女性の生き方)、発表(欠席した場合、レポート作成を課す)、受講態度(出席・課題提出状況)で評価します。欠席は減点とし、授業実施時間の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。					
参考書・教材	必要な資料は、配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	基礎教養テスト 自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)					
2	初年次教育Start program① 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
3	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ① 5学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(5学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)					
4	日本語検定準備学習(1): 在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 学んだ内容を復習する(1h)					
5	日本語検定準備学習(2): 在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 学んだ内容を復習する(1h)					
6	学生発表(1): 入学前課題(新聞記事・指定図書)をもとに、自分の考えをまとめ決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する [準備・課題] 発表で不十分だったところを反省し、記述する(1h)					
7	日本語検定準備学習(3): 在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 学んだ内容を復習する(1h)					
8	日本語検定受験(6/8に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)					
9	講話 「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
10	環境を考えるエコツアー: エコツアーを通してクラス内でのコミュニケーションを深め、本学で実施されているエコ活動を知る。また、エコロジーについて考える [準備・課題] エコロジーについて調べ、記述する(1h)					
11	日本の伝統文化に触れる(1): 浴衣の着付け(1): 浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師)					
12	日本の伝統文化に触れる(2): 浴衣の着付け(2): 浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [準備・課題] 日本の文化と着物について調べ、記述する(2h)					
13	社会人としてのマナー・服装編: 社会人としてのスーツの着こなし方を学ぶ。(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、いつでも身だしなみが整えられるようにする。(1h)					
14	講話 「女性の健康と命の大切さ」(外部講師: 前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
15	学生発表(2): 「自分の考える教養とは」をテーマに、受講して学んだことや教養に対する自分の考えをまとめ、決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する。 [準備・課題] 到達目標に対する自己評価を行い、自分の考えを記述する(1h)					
時間外での学修	毎回、受講後に「学修記録ノート」へ受講内容や学んだことを明確に記録してください。					
受講学生へのメッセージ	本科目は、多種多様な講義と演習の科目です。毎時間出席することにより、受講記録を行うことが大切です。担当教員より「学修記録ノート」提出の指示があった場合は、指示通りに提出してください。最終日に「学修記録ノート」を全員提出してもらい、評価をします。オフィスアワーは、各担当教員の時間になります。					



教養・キャリア基礎演習Ⅰ(看護学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 古田 桂子・佐々 敏・棚橋 千弥子・服部 直子・馬場 貞子・緒方 京・松原 薫・安藤 洋子・大澤 伸治・鎌原 直美・酒井 和美・柴田 由美子・清水 美恵・野網 淳子・長谷川 真子・吉川 美保・北村 美恵子・栗原 美和・戸村 佳美・水上 和典						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	短期大学における学修で必要となる基礎的な知識・技能や思考方法、また社会人に求められる教養や行動様式を、講義・演習を通して学びます。豊かな人間性を育みながら、看護を学ぶ者、将来医療に従事する者に必要な学修スキルおよび自己管理について学びます。					
授業方法	多種多様な講義と演習の科目で、全学共通のもの、学科ごとのもの、チューターグループごとのものなど授業形態が毎回異なります。事前に場所、準備するものなど、掲示をよく確認してください。					
到達目標	知識・理解	自己の適正や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			△	
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。			◎	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら授業に取り組める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	受講態度	-	-	-	30	30
	日本語検定(検定結果)	30	-	-	-	30
	レポート	-	10	-	-	10
	学修記録ノート	-	-	30	-	30
	合計(点)	30	10	30	30	100
評価の特記事項	授業に出席して記入する学修記録ノートから、受講態度(自己評価)と技能を評価します。技能は、学修記録ノートの受講内容要約と学びをもとに評価します。レポートは「第9回:女性の生き方」で評価します。そのため、欠席したりノートやレポートの未提出はその分の評価点がありません。具体的な評価基準は初回に提示します。					
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	基礎教養テスト 自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)					
2	初年次教育Start program① 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
3	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ① 5学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(5学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)					
4	日本語検定準備学習①: 模擬試験(チューター教員) [課題] 試験の内容を振り返り、不十分なところを振り返り、今後の学習計画を立てる(1h)					
5	日本語検定準備学習②(チューター教員)					
6	日本語検定準備学習③(チューター教員)					
7	日本語検定準備学習④: 模擬試験(チューター教員) [課題] 試験の内容を振り返り、不十分だったところを復習する。(2h)					
8	日本語検定受験(6/8に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)					
9	講話 「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
10	個別面接①(チューター教員)					
11	個別面接②(チューター教員)					
12	「大学で学ぶということ」(総合教育センター長)					
13	国家試験に向かったのガイダンス(外部講師)					
14	講話 「女性の健康と命の大切さ」(外部講師: 前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)					
15	消費生活講座(外部講師)					
時間外での学修	毎回学修記録ノートに学んだ内容および感想・考えたことを記録して、チューター教員に提出してください。					
受講学生へのメッセージ	看護学生であり、社会人としての第一歩でもあります。学生同士の交流を深めながら、積極的に参加し学びを深めていってください。オフィスアワーは、各チューター教員の時間になります。					

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(幼児教育学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
[教員]: 中野 由香里・名和 孝浩・今村 民子・内藤 敦子・松村 齋・水谷 聡美・光井 恵子							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を深める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学習意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について知る [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
2	自立するためのライフプラン：将来設計と就業観・勤労観について考える(就職支援課) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
3	社会人に必要なコミュニケーション： 社会人として必要なコミュニケーション力について考える機会とする(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
4	共同作業体験学習Ⅰ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
5	共同作業体験学習Ⅱ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
6	社会人としてのマナーⅠ：社会人として必要なマナー(服装)について学ぶ(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
7	社会人としてのマナーⅡ： 社会人として必要なマナー(挨拶、言葉遣い、話し方、電話の応対等)について学ぶ(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
8	専門的職業講話：社会で活躍している先輩の話を開き、職業人に対する憧れをもつ(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
9	個別面談： 今までの学生生活や学修の様子を振り返り、自分の課題と今後の進路について考える機会とする [準備・課題]自己の課題や進路希望についてまとめる(1h)						
10	保育職とは(公務員他)：保育職(公務員他)について考える・保育実習に向けて [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
11	共同作業体験学習Ⅲ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
12	保育園研究セミナー：保育園の先生方から直接お話を聞く [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
13	初年次教育Start program②：初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ5学科の学生によるグループで交流を行う(総合教育センター) [課題](1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
14	共同作業体験学習Ⅳ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
15	まとめ：後期の学修を振り返り、総括すると共に今後に向けての課題を明らかにする [準備・課題]学習した内容を復習し、記録用紙にまとめる。(1h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めること。分からない点は図書館等で調べ解決してください。						
受講学生へのメッセージ	授業の学習内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学習にのぞんでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、チューターの研究室(H号館2F)へ来て相談してください。						

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(デザイン美術学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・植田 努						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	前期で身に付けた基礎学修を応用していくとともに、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身に付けていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身に付け、考える力とコミュニケーション能力を養います。					
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等でよく確認しておいてください。					
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断表現の力がついている。			○	
	技能	自己の将来を実現していくために必要な基本的技能が身についている。			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想実現に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	学修記録ノート	40	-	-	10	50
	レポート	-	20	-	-	20
	グループワーク	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	40	20	20	20	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入状況を評価します。					
テキスト	なし					
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教養キャリアⅡガイダンス 授業の進め方、キャリアの概念 [課題] 講座の目標をまとめる(1h)					
2	自立するためのライフプラン 生涯にわたり様々なステージをどう生きていくのか、考え方を学ぶ [課題] 卒業後どのような生活を設計するのかまとめる(1h)					
3	共同制作体験Ⅱ グループで企画立案し、運営する体験学習 [課題] 企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる(1h)					
4	共同企画体験Ⅲ 様々な人とコミュニケーションをとりながら目的を達成するために協力する [課題] コミュニケーションと、協力することの必要性を理解し、まとめる(1h)					
5	自己分析Ⅲ 自己理解と他者理解を深める [課題] 自分を理解し、納得したうえで文で表せるよう考え、まとめる(1h)					
6	議論演習 自己理解ができた上で、自分を表現する [課題] どう相手に伝えられるかを考え、まとめる(1h)					
7	個人面接 状況を説明して言葉で表す [課題] 伝えることの重要性を考え、まとめる(1h)					
8	専門的職業演習Ⅰ スマートフォンアプリ制作:オリジナルアプリをデザインする(外部講師) [課題] 制作手順を理解し、まとめる(1h)					
9	専門的職業演習Ⅱ スマートフォンアプリ制作:オリジナルアプリを作る(外部講師) [課題] 制作手順を理解し、まとめる(1h)					
10	社会人としてのマナーⅠ 服装、メイク編 スーツを着る、メイクをする際の注意点を学ぶ(外部講師) [課題] 社会人らしい服装、メイクについて理解し、まとめる(1h)					
11	社会人としてのマナーⅡ 文書、電話、Eメール編 働く基本的なスキルを学ぶ(外部講師) [課題] 社会人らしい対応、必要な点について理解し、まとめる(1h)					
12	履歴書の書き方 書き方の注意点を学ぶ [課題] 目標設定とリサーチの重要性を理解し、まとめる(1h)					
13	初年次教育Start program②:初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ5学科の学生によるグループで交流を行う(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
14	将来を展望するⅠ 反省と今後に向けて(1) [課題] 目標を設定する(1h)					
15	将来を展望するⅡ 反省と今後に向けて(2) [課題] 目標を設定し、まとめる(1h)					
時間外での学修	各回のテーマについてしっかり関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても解決できない場合は、各担当教員に相談してください。					
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。					

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(音楽総合学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・小西 文子・横井 香織・松永 幸宏						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。					
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。					
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○	
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			◎	
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身につけている。			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	学修記録ノート	25	30	-	-	55
	受講態度	-	-	20	25	45
	合計(点)	25	30	20	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数1/3以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト						
参考書・教材	資料等は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教養・キャリア基礎演習Ⅱガイダンス [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
2	自己分析Ⅰ(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
3	自己分析Ⅱ(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
4	共同作業演習Ⅱ [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
5	共同作業演習Ⅲ [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
6	就職活動準備講座Ⅰ(履歴書作成/ライフプラン)(担当:就職支援課) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
7	社会人としてのマナーⅠ(服装編)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
8	専門的職業講話Ⅱ(担当:本学卒業生 ウインドアンサンブルコース、リペアコース卒) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
9	社会人としてのマナーⅡ(メイク編)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
10	社会人としてのマナーⅢ(挨拶・話し方・電話編)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
11	就職活動準備講座Ⅱ(集団面接と個人面接)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
12	就職活動準備講座Ⅲ(面接演習)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
13	初年次教育Start program②:初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ5学科の学生によるグループで交流を行う(総合教育センター) [課題](1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
14	社会人女性との交流会(就職活動準備懇談会)(担当:外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1~2h)					
15	教養・キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ総括(反省と今後に向けて)					
時間外での学修	各回のテーマについてしっかり関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決してください。自分で調べても問題解決出来ない場合は、各担当教員に質問してください。					
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識を持って受講してください。事前に配布する「教養・キャリア基礎演習Ⅱ学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と学び、自己評価を記入してください。オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。					

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(歯科衛生学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 石川 隆義・海原 康孝・久本 たき子・村田 宜彦・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・三角 洋美・戸倉 さち子						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。					
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など、授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等でよく確認しておいてください。					
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			△	
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。			△	
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身に付いている。			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	受講態度	-	-	-	60	60
	学修記録ノートの記述(毎回)	-	-	25	-	25
	発表	10	-	-	-	10
	レポート作成	-	5	-	-	5
	合計(点)	10	5	25	60	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。第15回教養・キャリア基礎演習Ⅱのまとめを欠席した場合は、発表に準じた課題があります。					
テキスト	なし					
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス: 教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について話し合う [準備・課題] 学んだ内容を振り返る(1h)					
2	キャリアについて考える: 3年生の卒業研究を聞いてキャリアについて自ら考える [準備・課題] 学んだ内容を振り返り、自分の考えをまとめる(1h)					
3	消費生活講座: 若者が巻き込まれやすい消費者被害とその予防法や対処法を知り、消費生活に関する基礎知識を修得する(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、考えたことを記述する(1h)					
4	共同作業体験Ⅰ: みずき祭について各クラスに分かれ、ディスカッションする [準備・課題] ディスカッションした内容をまとめ、課題に取り組む(1h)					
5	共同作業体験Ⅱ: みずき祭について各クラスに分かれ準備する [準備・課題] 学んだ内容をまとめ、復習する(1h)					
6	社会人としてのマナーⅠ: 社会人として必要なマナー(挨拶、言葉遣い、話し方、電話の応対など)について学ぶ(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を調べ、記述する(1h)					
7	社会人としてのマナーⅡ: 社会人として必要なマナー(対人関係、冠婚葬祭など)について学ぶ(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を調べ、記述する(1h)					
8	女性の生き方について考える: 女子短大生としての3年間の過ごし方と卒業後の生き方について考える(石川学科長) [準備・課題] 短大在学期間と卒業後の女性としての生き方についてレポートにまとめる(1h)					
9	人権講座: 人権尊重の考えを理解し、まわりの人への「心づかい」の大切さを知るとともに「心と言葉」について考える(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、考えたことを記述する(1h)					
10	自己分析と自己PR: 今までの自分を振り返り、自分自身を見つめ直し考える機会とする(総合キャリアサポーター) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、考えたことを記述する(1h)					
11	歯科医療における地域貢献: 歯科衛生士として歯科医療における地域貢献について学ぶ(大垣歯科医師会) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、考えたことを記述する(1h)					
12	マナー講座Ⅰ: 会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ [準備・課題] 学んだ内容を調べ、復習する(1h)					
13	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ5学科の学生によるグループで交流を行う(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)					
14	マナー講座Ⅱ: 会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ [準備・課題] 学んだ内容を調べ、復習する(1h)					
15	教養・キャリア基礎演習Ⅱまとめ: 今後に向けて、14回の内容についての学びをまとめ、発表する [準備・課題] 発表で不十分だったところを反省し、学修記録ノートに記述する(1h)					
時間外での学修	各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。					
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後講義内容と感想を記録してください。オフィスアワー: スタッフルーム(G202:G号館2F)各担当教員の時間になります。					

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(看護学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
[教員]: 古田 桂子・佐々 敏・棚橋 千弥子・服部 直子・馬場 貞子・緒方 京・松原 薫・安藤 洋子・大澤 伸治・鎌原 直美・酒井 和美・柴田 由美子 ・清水 美恵・野網 淳子・長谷川 真子・吉川 美保・北村 美恵子・栗原 美和・戸村 佳美・水上 和典						
[関連する資格・履修制限等]: 特になし						
授業内容	短期大学における学修で必要となる基礎的な知識・技能や思考方法、また社会人に求められる教養や行動様式を、講義・演習を通して学びます。豊かな人間性を育みながら、看護を学ぶ者、将来医療に従事する者に必要な学修スキルおよび自己管理について学びます。					
授業方法	多種多様な講義と演習の科目で、全学共通のもの、学科ごとのもの、チューターグループごとのものなど授業形態が毎回異なります。事前に場所、準備するものなど、掲示をよく確認してください。					
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。			◎	
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身についている。			△	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	受講態度	-	-	-	30	30
	課題レポート・発表	-	-	10	-	10
	学修記録ノート	30	30	-	-	60
	合計(点)	30	30	10	30	100
評価の特記事項	受講態度は、学修記録ノートの取り組み状況と自己評価で評価します。また、学修記録ノートの受講内容要約と学びから「知識・理解」と「思考・判断・表現」について評価します。課題レポート・発表は、自分の将来構想や目標についてレポートにまとめ、第14回目にそれをもとに発表し、総合的に評価します。そのため、レポートの未記入や欠席は評価されません。また、学修ノートの未記入・未提出はその分の評価点はありません。また、欠席は減点になりますので注意してください。					
テキスト	授業時に提示					
参考書・教材	授業時に提示					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教養キャリアⅡガイダンス(古田)					
2	労働に関する知識(外部講師) [課題]学修内容を復習する(1h)					
3	社会人としてのマナーⅠ(外部講師) [課題]学修内容を復習する(1h)					
4	協同作業体験Ⅰ(各チューター教員)					
5	協同作業体験Ⅱ(各チューター教員)					
6	社会人としてのマナーⅡ(外部講師) [課題]学修内容を復習する(1h)					
7	医療現場における情報取り扱い方(外部講師) [課題]学修内容を復習する(1h)					
8	専門的職業講話Ⅰ: 看護師の職場・ナースセンターの役割(外部講師) [課題]学修内容を復習する(0.5h)					
9	専門的職業講話Ⅱ: 看護師1年目のキャリア(外部講師) [課題]授業を振り返り、卒業後の自分のキャリアを考える(1h)					
10	専門的職業講話Ⅲ: ジェネラリストのキャリア(外部講師) [課題]授業を振り返り、卒業後の自分のキャリアについて考える(1h)					
11	専門的職業講話Ⅳ: スペシャリストのキャリア(外部講師) [課題]Ⅰ～Ⅳの講話を振り返り、看護職としての自己の将来像を考え、レポートを第14回までに完成させる(2～3h)					
12	面接マナー・履歴書の書き方(外部講師) [課題]学修内容を復習する(1h)					
13	初年次教育Start program②: 初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ5学科の学生によるグループで交流を行う(総合教育センター) [課題](1)学修内容を復習する(2)課題の作文を書く(1～2h)					
14	看護師をめざして: レポート発表および今後の課題についての意見交流(各チューター教員) [準備]レポート「私の目指す看護師像と将来構想」を完成させて、授業に臨む(1～2h)					
15	看護師になるために: 初めての実習ガイド(野網) [課題]学修内容を復習する(1h)					
時間外での学修	毎回学修記録ノートに学んだ内容および感想・考えたことを記録して、チューター教員に提出してください。					
受講学生へのメッセージ	看護学生であり、社会人としての第一歩でもあります。学生同士の交流を深めながら、積極的に参加し学びを深めていってください。オフィスアワーは、各チューター教員の時間になります。					

社会活動演習(幼児教育学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 松村 齋							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動(こども祭、みずき祭、アクアウォークなど)や、本学の環境整備活動、保育関係の学会・研修会、シンポジウムなどに参加活動し、振り返りをおこなう。						
授業方法	活動参加及び振り返りの実施						
到達目標	知識・理解	社会の課題に気づき、適切に判断・行動することができる。			○		
	思考・判断・表現	学びの集積を自覚し、統合し活用することができる。			○		
	技能	さまざまな価値観に対応できる柔軟性を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	社会に貢献する自明観と責任感をもって、積極的に行動することができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	提出物(ポートフォリオ)	20	20	20	40	100	
	合計(点)	20	20	20	40	100	
評価の特記事項	ポートフォリオの提出(100%)で評価する。 3年間で、(1)行事参加、(2)環境整備活動、(3)学会・研修会・シンポジウムへの参加等をおこない、ポートフォリオを提出する。						
テキスト	なし						
参考書・教材	特に指定はしませんが、学会などの催し、研究会などは案内します。 日頃から、教育・政治・経済など社会情勢などを知るための印刷物(新聞、関連誌)を身近な教材にしてください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>方法: 課題レポートの提出(100%)で評価する。</p> <p>それぞれの活動を  (1) 行事参加  (2) 環境整備活動  (3) 学会・研修会、シンポジウムなどへの参加  の3分野に分類し、  3年間で  (1) 行事参加は30h以上(時間外活動)  (2) 環境整備活動は30回以上  (3) 学会・研修会・シンポジウムなどへの参加は3回以上  を総合的にまとめた課題レポートを提出する。</p>						
時間外での学修	社会活動演習の種類によって、事前準備・学修が必要になってきます。 詳細については担当教員より連絡があります。						
受講学生へのメッセージ	社会活動に積極的に参加することによって、大学で学ぶ知識や技術を統合し、主体的・協同的な姿を備えた保育者になることを目的としています。 オフィスアワーは各教員の時間帯を参照。そのほか、必要な時にチューターに相談してください。						

社会活動演習(デザイン美術学科)		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 田中 久志							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、デザイン・美術関係の学会・研修会に参加・活動し、社会活動演習ノートを作成する。						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。						
到達目標	知識・理解	社会の一員としての知識、社会的活動の意義を理解できる。			◎		
	思考・判断・表現	社会の一員として、ボランティア活動に必要な考えを持ち、行動することができる。			○		
	技能	身につけた技能を社会のために生かすことができる。			○		
	関心・意欲・態度	探究心を持ち、自ら他者の手助けをする意思を持ち、行動することができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	社会活動		30	20	25	-	75
	社会活動記録ノート		-	-	-	25	25
	合計(点)		30	20	25	25	100
評価の特記事項	社会活動記録ノートは必須です。						
テキスト	なし						
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>2年間において、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。</p> <p>&lt;社会活動の内容&gt; (30h)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県や市町村等の主催する社会的活動への参加</li> <li>2. 各種団体主催のボランティア活動への参加</li> <li>3. 地域や学内で行われる行事や活動への参加</li> <li>4. 小・中・高等学校等での指導や補助</li> <li>5. 自主的な清掃活動</li> <li>6. その他教員が推奨する社会的活動等</li> </ol> <p>&lt;報告書の提出&gt; (15h)</p> <p>社会活動後、2週間以内に社会活動記録ノートをチューターに提出してください。  *上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。</p>						
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、社会活動記録ノート提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。						
受講学生へのメッセージ	社会活動やボランティア等の意義を理解し、積極的に参加してください。オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。						



社会活動演習(音楽総合学科)		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 服部 篤典							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	社会活動、ボランティア等への参加及びレポートの作成						
授業方法	活動参加及びレポート作成						
到達目標	知識・理解	地域にある児童施設、高齢者施設などで専門分野を活かした指導や援助活動ができる。			○		
	思考・判断・表現	各種団体が主催するボランティア活動の意義を理解し、自ら参加できる。			○		
	関心・意欲・態度	自ら他人の手助けをする意思を持ち、ボランティア活動ができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	提出レポート		25	25	-	-	50
	活動に取り組む姿勢		-	-	-	50	50
	合計(点)		25	25	-	50	100
評価の特記事項	レポート提出のない学生、参加回数が15回に満たない学生には単位を与えません。						
テキスト							
参考書・教材	その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1-15	<p>2年間において、下記いずれかの活動に15回以上参加し(1回2h以上)、そのレポート等(1回1h以上)を提出することによって単位を認定します。</p> <p>「社会活動の内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町村等主催の社会活動への参加</li> <li>・各種団体主催のボランティア活動への参加</li> <li>・地域行事等への参加</li> <li>・保育施設、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等での指導、援助</li> <li>・その他のボランティア活動</li> </ul>						
時間外での学修	社会活動演習は、授業として行うものではありません。全て授業外で自ら参加する活動です。						
受講学生へのメッセージ	自主的に取り組む授業となりますので、自分で記録をその都度残すようにしてください。オフィスアワーは、各チューターの指定時間と場所になります。						

社会活動演習(歯科衛生学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 石川 隆義							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、歯科医学関係の学会・研修会、地域保健活動に参加・活動し、社会活動演習日誌を作成する。						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。						
到達目標	知識・理解	・社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な知識を身につけることができる。			◎		
	技能	・社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能についてその基礎を身につけることができる。			◎		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む事ができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	社会活動演習日誌内容		42	-	42	-	84
	社会活動演習日誌提出状況		-	-	-	16	16
	合計(点)		42	-	42	16	100
評価の特記事項	社会活動演習日誌内容の84%は *7点(1回)×12回(A:7点 B:6点 C:5点)で評価します。実施日より3週間以上経過して日誌を提出した場合には減点します。						
テキスト	なし						
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>歯科衛生学科3年間で、(1)学内活動 (2)学外活動の2分野において社会活動演習を行います。 ※活動合計時間数が30h以上になること</p> <p>(1)学内活動・・・3年間で7回以上参加 (内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事: FSC(ファーストステップキャンパス) みずき祭 (前夜祭と本番で1回) 研修旅行 (2年生) オープンキャンパス その他 (その他の行事予定はその都度、掲示などで連絡します。)</p> <p>(2)学外活動・・・3年間で5回以上参加 (内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事: 十万石まつりなどの地域で開催されている行事へのボランティア参加 その他のボランティア参加 (歯科衛生学科長が認めたもの) 該当研修会・学会: 日本歯科衛生士会・岐阜県歯科衛生士会主催の学会・研修会 日本歯科医師会・岐阜県歯科医師会主催の学会・研修会 教員が推奨する各種学会・研修会 (学会等の予定はその都度掲示などで連絡します。) *上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。</p> <p>注意事項: 上記活動に参加後、3週間以内に社会活動演習日誌をチューターへ提出してください。 (作成時間数: 1回の活動につき1h以上) 原則、日誌は実施後から1か月以内の提出とします。 *実施日より3週間を経過して日誌を提出した場合には減点対象となります。 日誌提出後、所定欄にチューターより検印をもらって社会活動として認定されます。</p>						
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、日誌提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。						
受講学生へのメッセージ	地域に貢献できるような活動への参加を期待します。主体的に取り組んでください。オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。						

社会活動演習(看護学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]: 佐々 敏							
[関連する資格・履修制限等]: 特になし							
授業内容	短大や地域の市町村・県などの主催する社会活動や地域医療活動に参加することにより、地域とその医療の維持・向上に貢献すると共に地域住民とのコミュニケーションの機会とする。 また、各種団体主催のボランティア行事、学会・研修会等に参加し、看護の専門性を学ぶ機会とする。						
授業方法	活動内容により異なるが、事前学習や事前準備をし、活動後には活動記録を作成して学びの確認を行う。						
到達目標	知識・理解	社会活動の意義を理解し、社会人としての知識を活用して活動に参加できる。			◎		
	思考・判断・表現	地域で生活する人々と交流し、さまざまな人の価値観や生き方に触れることで思考力・判断力を高めると共に、活動の中で自己の考えを表現できる。			○		
	技能	地域で活動する人々とのコミュニケーション能力と協働能力の必要性を理解できる。			△		
	関心・意欲・態度	社会活動に関心を持ち積極的に諸活動に参加できる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		50	20	10	20	100
	合計(点)		50	20	10	20	100
評価の特記事項	参加した回数が多ければ、関心・意欲に反映されます。						
テキスト	特になし						
参考書・教材	活動内容により必要時に資料を提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>看護学科3年間で、</p> <p>(1) 学内活動</p> <p>(2) 学外・地域活動</p> <p>(3) 学会・研修会およびシンポジウム</p> <p>などに参加して、社会活動用紙に自らの行動の振り返りを記録します。</p> <p>3年間で6回以上(30時間以上)参加し、社会活動演習で学んだことをまとめて社会活動記録を作成し考察します。</p> <p>[課題] 興味のある社会活動について、情報収集し、計画的に参加する。(3h)</p> <p>[課題] 自ら参加した社会活動の意義を考える。(5h)</p> <p>[課題] 3年間のあいだに参加した社会活動を振り返り、その学びを統合する。(5h)</p> <p>[課題] レポートを作成する。(10h)</p>						
時間外での学修	社会活動演習は全て自ら企画・参加する活動です。						
受講学生へのメッセージ	積極的に社会活動に参加することで学内授業では学べない多くの知恵や知識を身につけてください。 ボランティア活動への積極的参加を期待します。 オフィスアワーは各チューター毎の時間設定となります。						

基礎教養特講		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
[教員]：茂木 七香・矢田貝 真一							
[関連する資格・履修制限等]：特になし							
授業内容	社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学習した内容の定着や深化を図り、一般的な社会常識なども含めて学びます。中心となる内容として、専門科目の学修につながる幅広い基礎的知識、他の教養科目や専門科目を学ぶ際に必要となる基本的知識、一般的な社会人に求められる常識的な知識などを学んでいきます。						
授業方法	復習のための確認問題に取り組み、その解説、さらに定着を図るための練習問題に取り組むという流れで授業を展開します。それぞれがしっかりと予習や復習に取り組んだ上でのごんください。この授業では、SA (スチューデント・アシスタント) の学生がサポートにあたります。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基礎となるとともに社会人に教養として求められる知識を実につける。			◎		
	思考・判断・表現	社会人に求められる教養としての思考力や判断力を身につける。			○		
	技能	社会人に求められる教養の1つとして、知的操作や技法の基礎を身につける。			△		
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学習に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		40	10	-	-	50
	学修記録		10	10	5	-	25
	学修成果の自己評価		-	-	5	10	15
	受講態度(学修・提出等の状況)		-	-	-	10	10
合計(点)		50	20	10	20	100	
評価の特記事項	前期と後期で15回以上受講し、かつ試験を受けて合格することで、単位が取得できます。						
テキスト	授業で指示します。						
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
第1回	【前・後期】オリエンテーション (社会に必要な教養について、学修の進め方や教材について、基礎確認テスト、他) [準備・課題] 確認テストの復習と次時内容の予習を確実に行う (1～2h)						
第2回	【前期】世界史・思想文化史と難読漢字の定着と発展 【後期】地理1・漢字1の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1h)						
第3回	【前期】方程式・同音異義語の定着と発展 【後期】式の計算1・漢字2の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1～2h)						
第4回	【前期】政治と憲法・同訓異義語の定着と発展 【後期】地理2・漢字3の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1h)						
第5回	【前期】文章題1・同義語と対義語の定着と発展 【後期】式の計算2・漢字4の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1～2h)						
第6回	【前期】経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 【後期】日本史1・漢字5の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1h)						
第7回	【前期】文章題2・四字熟語1の定着と発展 【後期】文字式・漢字6の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1～2h)						
第8回	【前期】社会生活・四字熟語2の定着と発展 【後期】日本史2・漢字7の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う (1h)						
第9回	【前期】図形・慣用表現と敬語表現の定着と発展 【後期】式の展開と因数分解・同字異読語の定着と発展 [準備・課題] 学んだ内容の復習とこれまで学んだ内容の全体について復習を行う (1～2h)						
第10回	【前・後期】まとめ(第1回～9回までの学修の確認と定着) [準備・課題] 学んだ内容の総合的な復習を行う (1～4h)						
時間外での学修	[準備・課題]として示した内容、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。教科書以外の問題集なども使って、各自で学修を進めてください。						
受講学生へのメッセージ	この授業の単位は、年度や時期を問わず通算15回以上の授業に参加し、学期末に行われる試験に合格すれば取得できます。授業内容は、後期から次年度の前期までで完結するように計画されています。授業での学修内容の理解と定着を図るため、できるだけ連続して参加しましょう。単位取得を希望しない場合も、自主学習のペース作りとして参加できます。オフィスアワーはA306で毎週火曜日の10:00～12:00です。						